



Neb:o

EasyPit F

イージーピットF

取扱説明書

保証書付き

身長

40～150cm

R129/04

汎用ベルト固定式改良型幼児拘束装置

40～105cm/≤18kg

i-Size ブースターシート

100～150cm



目次

■ 目次	2
■ ご使用いただく前に	4
■ 表示について	4
■ 安全にご使用いただくために	5
■ 取付けできる座席	7
■ 取付けできない座席	8
■ シートベルトの種類と確認	9
■ 梱包内容	10
■ 各部の名称	11
■ チャイルドシートの移動時の持ちかた	12
■ お子さまの身長に合わせた使用方法	13
■ リクライニングの操作方法	14
■ インナークッション	15
■ インナークッションの各部の名称	15
■ インナークッションの取外し方法	16
■ 肩ベルトの調節方法	17
■ 肩ベルト・腰ベルトをゆるめる方法	17
■ 肩ベルト・腰ベルトをしめる方法	17
■ バックルの取付け・取外し方法	18
■ ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節と位置の目安	19
■ 肩ベルト位置の目安	19
■ ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法「身長 40 ～ 105cm まで」	20
■ 取付ける前の準備	20
■ チャイルドシートの取付け	21
■ 取付け後のチェックリスト	26
■ お子さまの乗せ方	27
■ 肩ベルトの高さ	28
■ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	29
■ 走行前のチェックリスト	30
■ チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 76 ～ 105cm まで」	31
■ 取付ける前の準備	31
■ チャイルドシートの取付け	32
■ 取付け後のチェックリスト	36
■ お子さまの乗せ方	37
■ 肩ベルトの高さ	39
■ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	39
■ 走行前のチェックリスト	40

■ジュニアシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 100 ～ 150cm まで」	41
■車両への取付け方法	41
■ジュニアシートモードへの準備	42
□肩ベルト・バックルの収納	42
■ジュニアシートモード(ISOFIX+車両シートベルトまたは車両シートベルトのみ)	46
□お子さまを乗せる前の準備	46
□お子さまの乗せかた	47
□走行前のチェックリスト	49
■シートカバーの取外し方法	50
■シートカバーの取付け方法	53
■お手入れ方法	54
■ベビーサポート	54
□洗濯方法	54
■ヘッドサポートクッション	55
□洗濯方法	55
■サイドサポートクッション	56
■各シートカバーの洗濯方法	57
■本体	57
■製品情報	58
■本体サイズ	58
■材質	58
■保管方法	58
■破棄方法	58
■保証書	

ご使用いただく前に

この度は「チャイルドシート EasyPit F <イージーピット F>」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しく使用してください。

お読みになったあとも、取扱説明書収納ポケットで大切に保管してください。

- ・本製品はチャイルドシート基準である UN ECE R129/04 に適合しており、身長 40cm～150cm くらいまで(目安：新生児～年齢 12 歳くらいまで)のお子さまを対象としたチャイルドシート「汎用ベルト固定式改良型幼児拘束装置 40～105cm/≤18kg/ i-Size プースターシート 100～150cm」です。上記身長範囲外のお子さまにはご使用いただけません。

- ・全てのお車に取付けられるものではありません。

車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書を参照してください。

車種適合表につきましては下記 URL から確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『危険』、『警告』、『注意』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠ 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠ 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠ 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

安全にご使用いただくために

危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- ・使用条件に適合しないお子さまや、取付けのできない座席などでは使用しないでください。
- ・車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない場合は使用しないでください。
- ・お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がったり、中腰にならないよう注意してください。
- ・ベビーシートモード・チャイルドシートモードでご使用の場合は、肩ベルトと腰ベルトが正しく装着され、左右のバックルタンクが差し込まれていることを確認してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合は、お子さまを座らせた時に、車両側のシートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合は、必ず肩ベルトガイド・腰ベルトガイドを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩から外れて危険です。
- ・車に取付ける際は、車両の取扱説明書および本書・本体表示に従い正しく取付けてください。
- ・車に取付ける際は必ず車両シートベルトで固定してください。

緊急時

緊急時は、保護者の方がバックル解除ボタンを押し、肩ベルト・腰ベルトを外してすみやかにお子さまを解放し、車外に脱出させてください。

警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席へ取付けないでください。
- ・2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席へ取付けないでください。
- ・お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。
- ・肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付いて、窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- ・チャイルドシートからの落下を防ぐため、車両シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤位置が確実に固定されるよう十分低い位置で装着してください。
- ・車両シートベルトに傷などがある場合は、その座席に取付けないでください。
- ・衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・お子さまがバックル解除ボタンを押してしまう可能性があります。バックルタンクがバックルから外れていないことを確認してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合、肩ベルトガイドは肩と同じ位の高さになるよう調節し、車両シートベルトがお子さまの体にあうようにして、使用してください。
- ・チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- ・短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。



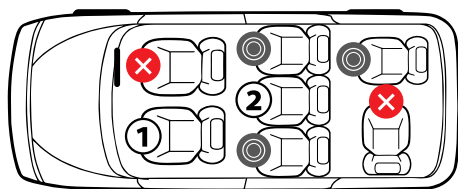
注意

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- 直射日光があたると、本体やバックルタンクが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 走行中はチャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。本書に記載のない使い方をしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないよう、十分注意してください。
- チャイルドシートの改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- お子さまだけで乗り降りはさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- シートカバーなどの縫製部分を外したまま使用しないでください。
また、本製品以外のものと取替えたりしないでください(衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けないでください。
チャイルドシートがしっかり固定されません。
- 座席の表皮素材(皮など)及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- 固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突の際に、お子さまに当たるおそれがあります。
- 使用歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

取付けできる座席

- ・本製品の取付け方：前向き（進行方向）
本製品は「特定車両」に分類されており、以下の座席に取付け可能です。



- 正しい設置位置
- ✕ 誤った設置位置
- ① エアバッグが装備されていない車に設置可能
- ② 3点式シートベルトを装着している場合のみ設置可能

取付け方法	座席条件	使用
進行方向 (前向き)	前座席：エアバッグを装備していない車	取付け条件が満たされれば、取付けは可能ですが、本製品は運転席より後ろの座席に取付けることをお奨めします。 やむを得ず、前座席に取付ける場合は座席シートを一番後ろに下げた状態で取付けてください。
	前座席：エアバッグを装備している車	
	後部座席の両側の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	後部座席の真ん中の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	進行方向に対して横向きの座席	取付け不可
	進行方向に対して後ろ向きの座席	取付け不可



危険

3点式シートベルト以外の座席では絶対に使用しないでください。



使用可能なシートベルト

- ELR 付シートベルト
- ALR/ELR 付シートベルト



警告

2点式シートベルトの座席では使用できません。



警告

3点式シートベルトでお子さまを拘束してください。

本製品は、UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、または他同等の基準を満たしている 3 点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。

シートベルトの種類により取付け方が異なったり、取付けられない場合があります。

※車種適合表は下記 URL より確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

車種適合表一覧は適宜更新しております。

取付けできない座席



注意

下記条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記以外の座席でも、ジュニアシートをしっかりと固定できない場合は設置・使用をしないでください。

●フロントエアバッグ装備の座席。

※サイドエアバッグのみの場合は使用可能です。

●進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。

●座面の形状に高低差があり、取付けた際に不安定になる座席。

●極端なバケットシート。

※座面の中心部分が深く凹んでいる座席。

●シートベルトが付いていない座席。

●2点式シートベルトの座席。

●パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

→車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置。

●座席の凹凸が極端で、取付けた際に不安定になる座席。

●シートベルトに損傷がある座席。

●座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本製品が接触する座席。



ポイント より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。



注意

本革の座席に使用すると、取付け跡が残る場合があります。

シートベルトの種類と確認



注意

シートベルトの種類により取付けができない場合があります。シートベルトの種類は、車両の取扱説明書を確認してください。



ポイント

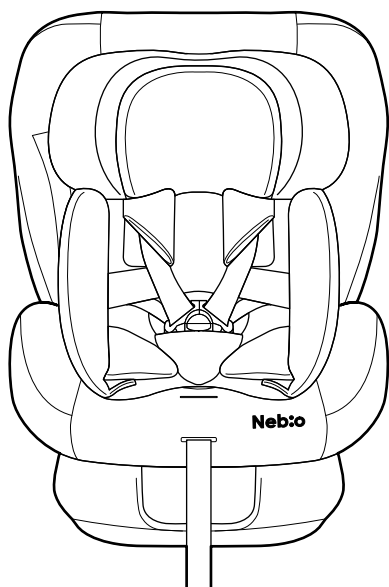
車種適合表につきましては下記 URL より確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

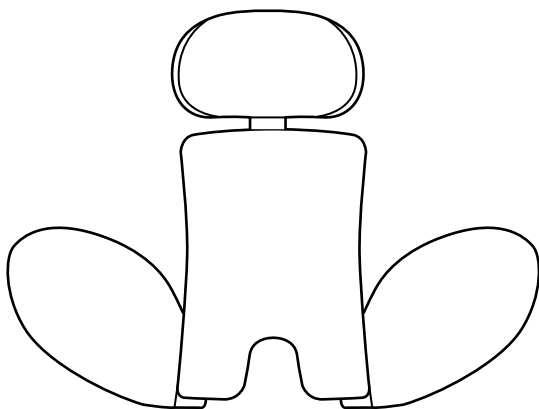
シートベルトの種類と特徴		取付け方法と注意事項
種類	特徴	
ELR 付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされます。	ゆっくりシートベルトを引き出してください。
ALR／ELR 付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付きです。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトの ALR 機能を作動させないでください。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
その他	上記特徴にあてはまらないもの	本製品は使用できません。

梱包内容

生産工程上、小さな樹脂片が本体内部に残り、
傾けるとカラカラと音がある場合がありますが、使用・構造上の
安全性に問題はありません。安心してご使用ください。



本体

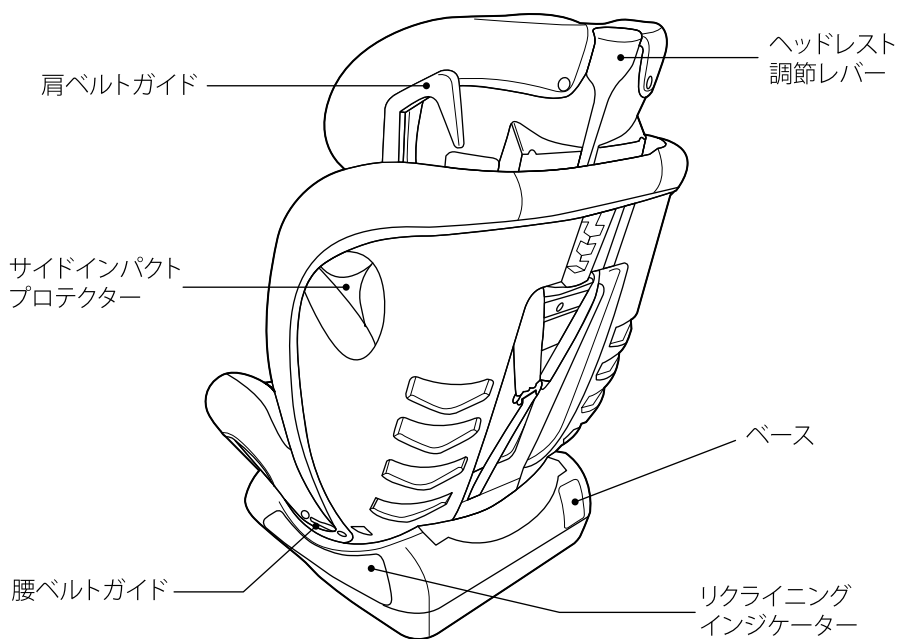
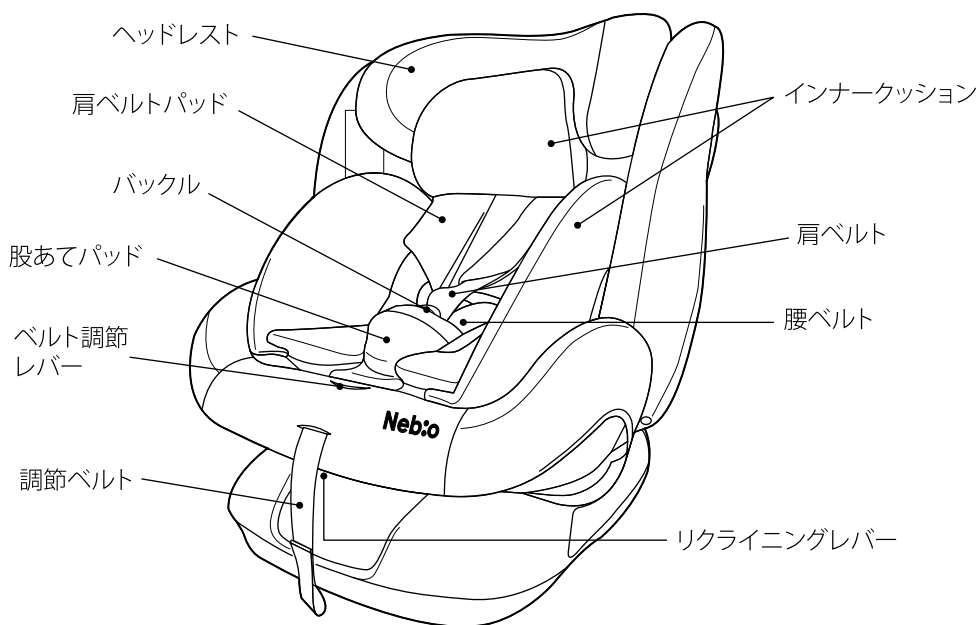


インナークッション
※本体に付属されています

《5点式ハーネスとは》

【肩ベルト】・【腰ベルト】・【バックル】をまとめて5点式ハーネスと呼びます。

各部の名称



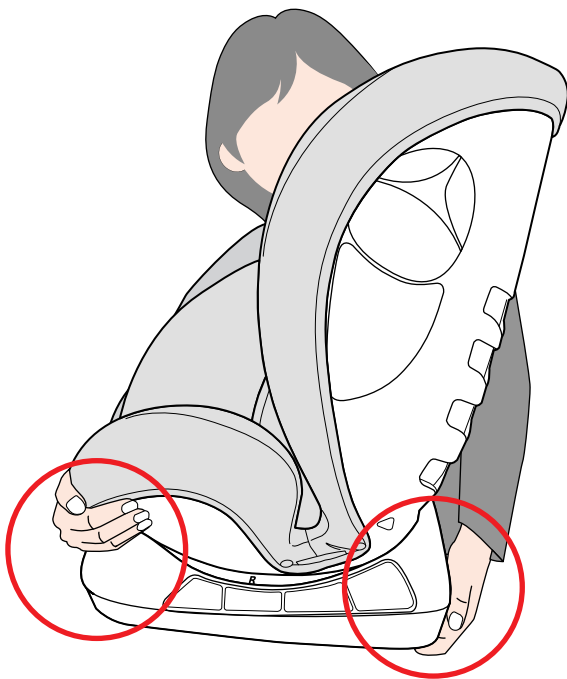
チャイルドシートの移動時の持ちかた



警告

持ち運びの際は、周囲に注意し物などにぶつからないよう注意してください。

持ち運びの際は、【本体前方の下部付近】と【ベースの後方中心部分】を持ってください。



注意

上記以外の部品を持つと、破損や落下の事故につながるおそれがあります。



警告

お子さまを乗せた状態で、持ち運ばないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまの身長に合わせた使用方法

ECE R129/04 に合格

モード	ベビーシートモード	チャイルドシートモード	ジュニアシートモード
使用の条件	身長：40 ～ 105cm	身長：76 ～ 105cm 体重：18kg 未満 月齢：15 ヶ月以上	身長：100 ～ 150cm
使用の状態			
取付け方法	車両シートベルト固定+5 点式ハーネス		車両シートベルト
取付け方向	進行方向後向き ※身長76cm未満のお子 さまは、必ず全てのイン ナークッションを使用し てください。	進行方向前向き ※インナークッションは 使用しないでください。	進行方向前向き
 警告 お子さまの月齢が 15 ヶ月を超え、尚且つ身長が 76cm 以上になるまでは、進行方向前向きで使用しないでください。			



危険

本製品のインナークッションは、誤った取扱いをすると本来の機能をはたさず大変危険です。
必ず本書の P15 (インナークッション) を確認し正しく使用してください。



注意

取外したインナークッションは車内に放置しないでください。
車内に転がって運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

リクライニングの操作方法

本製品はお子さまの成長に合わせて、《前向き 3 段階》
《後向き 1 段階》で角度を調節することができます。

- ①座席前方の裏側にあるリクライニングレバーを手前に引きながらシートのリクライニング角度を調節してください。



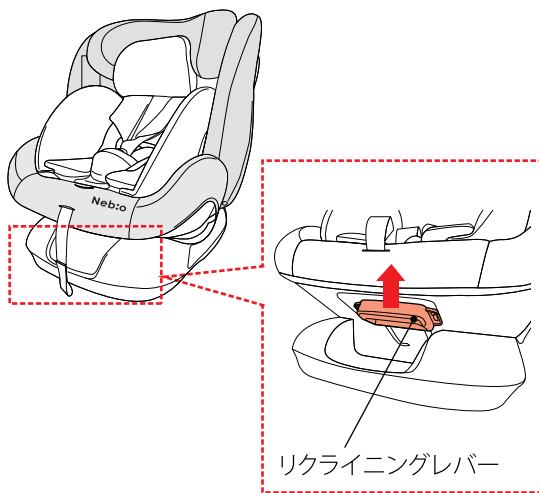
▶ 動画で解説
リクライニング
の操作方法

⚠ 警告

操作後、シートが固定されていることを確認してください（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）。

⚠ 注意

- ・リクライニング操作時は、お子さまの指や手を近づけないよう十分注意してください。指や手が挟まれ、けがをするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分に注意してください。
- ・ゴミや飲食物が入ると故障の原因になります。



進行方向後向き 身長 40 ～ 105cm	進行方向前向き 身長 76 ～ 150cm
1 段階 (R)	3 段階 (1～3)

⚠ 注意

お子さまの身長が 76cm 未満の場合は、絶対に進行方向前向きで使用しないでください。必ず【進行方向後向き】で使用してください。

インナークッション



警告

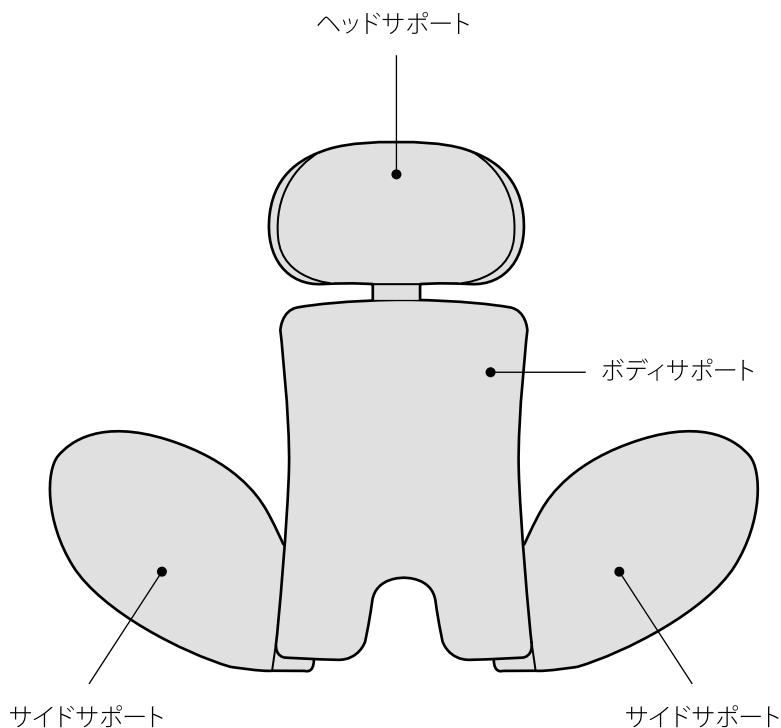
身長 76cm 未満のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。



警告

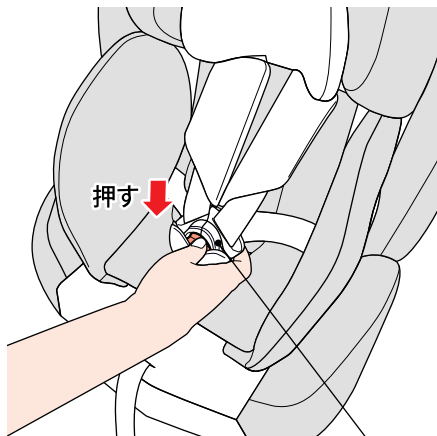
身長 76cm 以上のお子さまは、インナークッションを使用しないでください。

インナークッションの各部の名称

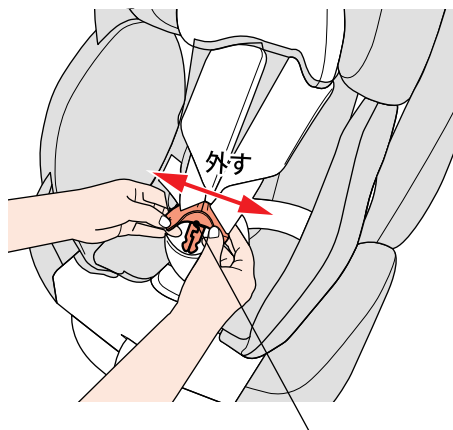


■ インナークッションの取外し方法

①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外します。

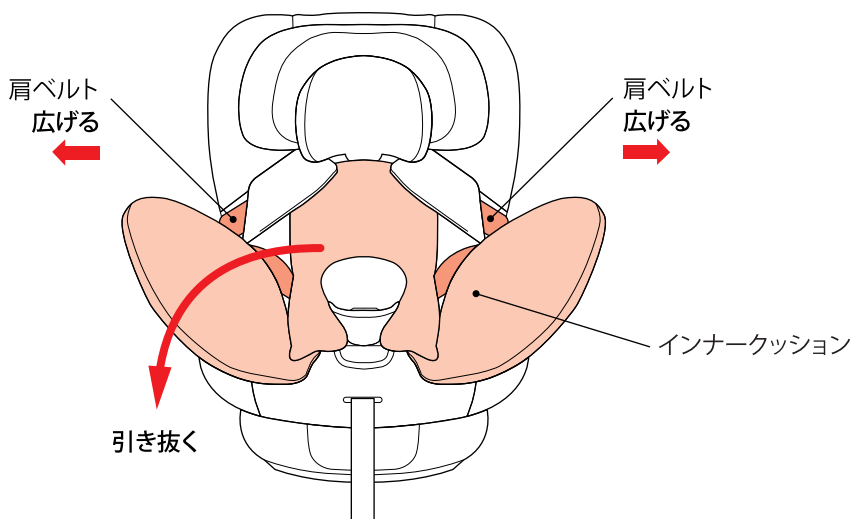


バックル解除ボタン



バックルタング

②肩ベルトを外側へ広げ、インナークッションを引き抜いてください。



肩ベルトの調節方法



警告

- かさばった服を着せたまま、使用しないでください。
- 肩ベルトと腰ベルトを正しい位置に装着してください。



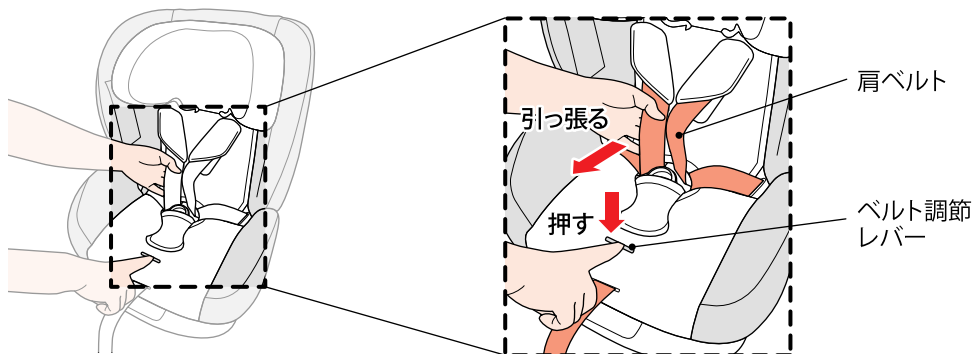
▶ 動画で解説
肩ベルトの
調節方法



ポイント 肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。

肩ベルト・腰ベルトをゆるめる方法

①ベルト調節レバーを片手で押しながら、もう片方の手で左右の肩ベルトを引っ張ります。



肩ベルト・腰ベルトをしめる方法

①肩ベルト・腰ベルトにゆるみがないか確認し、調節ベルトを引っ張ってください。

※肩ベルトと腰ベルトのゆるみは大変危険です。
お子さまと肩ベルトのすきまは、手のひらが入る程度に調節してください。



警告

- 必ず肩ベルトと腰ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと衝突時にお子さまがシートから飛び出すおそれがあります。
- 肩ベルトと腰ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。

バックルの取付け・取外し方法



動画で解説
バックルの
取付け・取外し方法



ポイント

- ・バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。
- ・バックルタングは左右、組み合わせてからバックルに差し込んでください。組み合わせないと差し込めません。

- ①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外してください。
- ②お子さまをチャイルドシートに深く座らせてください。
※インナークッションをご使用の際は、インナークッションにあわせてお子さまを深く座らせてください。
- ③お子さまの左右の腕を肩ベルトに通します。



注意

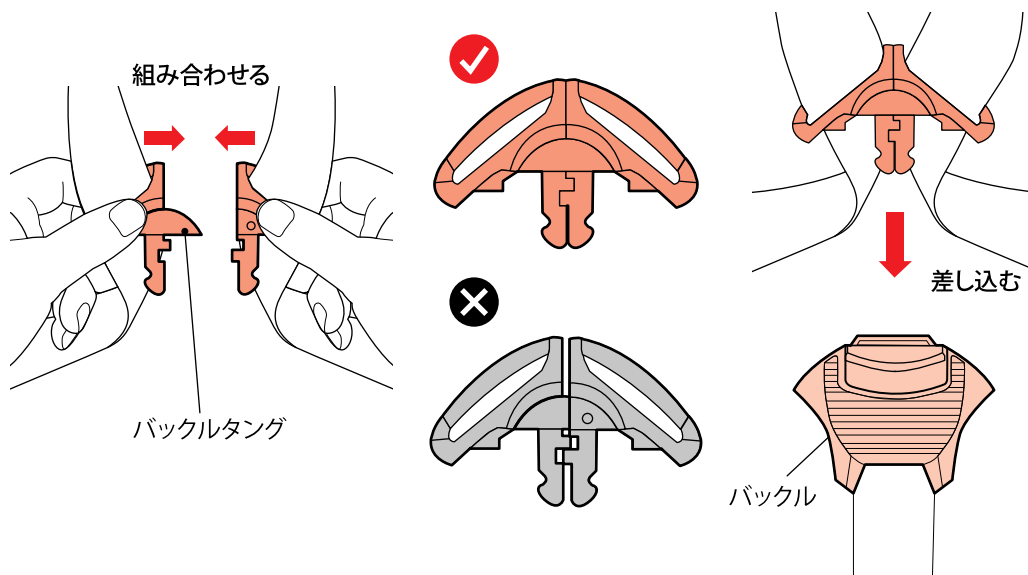
左右の肩ベルトがねじれていないことを確認してください。

- ④左右のバックルタングを組み合わせてください。※組み合わせの向きにご注意ください。
- ⑤組み合わせてから「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。



注意

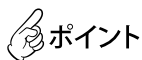
バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まっていないか確認してください。



ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節と位置の目安



動画で解説
ヘッドレストの
高さ調節



ポイント

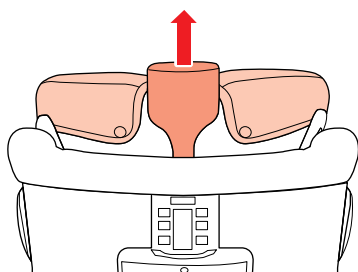
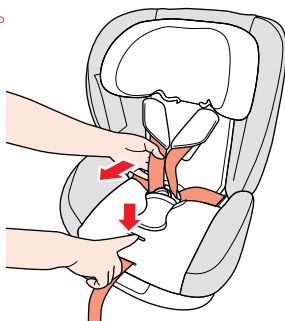
ヘッドレストの調節は肩ベルトをゆるめてから行う必要があります。
※肩ベルトの調節は、P17 を参照してください。

ヘッドレストの位置はベビーシートモード、チャイルドシートモードで7段階、
ジュニアシートモードで13段階で調節可能です。

①ヘッドレストを高くする準備として肩ベルトをゆるめてください(P17 参照)。

※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。

②ヘッドレスト調節レバーを引き上げて肩ベルトを正しい高さに調節してください。



③適切な位置でヘッドレスト調節レバーから手を離してください。

④ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。



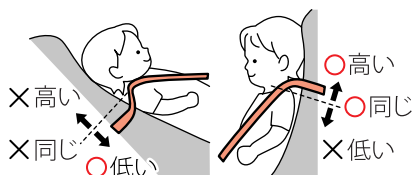
注意

ヘッドレストと肩ベルトの高さは進行方向によって異なります。肩ベルトは図 a の位置を目安に調節してください。

肩ベルト位置の目安

ヘッドレストを適切な位置に調節してください。
その目安はお子さまの肩とヘッドレストのすきまに
指一本くらいとなります。

図 a



ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法「身長 40 ～ 105cm まで」

⚠ 警告

お子さまの月齢が【15 ヶ月】を超え、尚且つ身長【76cm】以上になるまでは、必ず進行方向後向きで使用してください。



▶ 動画で解説
ベビーシートモード
の使用方法

使用条件

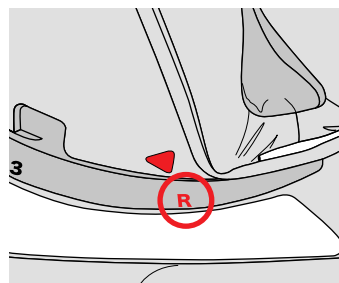
- ・お子さまの身長が 76cm になるまでは必ず進行方向後向きで使用してください。
- ・お子さまの体格が合えば、身長 105cm まで進行方向後向きで使用可能です。
- ・身長 76cm 未満のお子さまは「全てのインナークッション」を使用してください。

取付ける前の準備

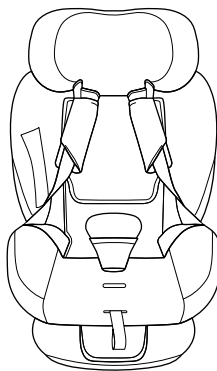
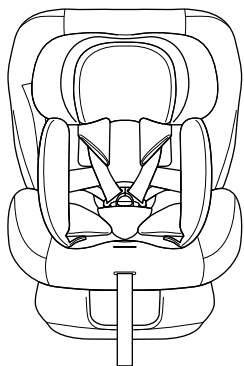
①リクライニング角度を後向きポジション R にしておきます (P14 参照)。

⚠ 注意

車両座席に取付けた後にリクライニング角度を調節することはできません。
取付けがゆるみ大変危険です。
あらかじめリクライニング角度を調節してください。



② 取付けやすくするために、一旦ハーネスのバックルを解除し、インナークッションを取外し、ヘッドレストを上げておきます。



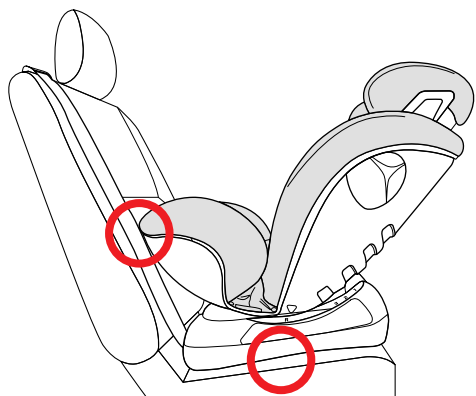
※身長 76cm 未満のお子さまをお乗せになる場合は、⑧で必ずインナークッションを取付けてください。

⚠ 警告

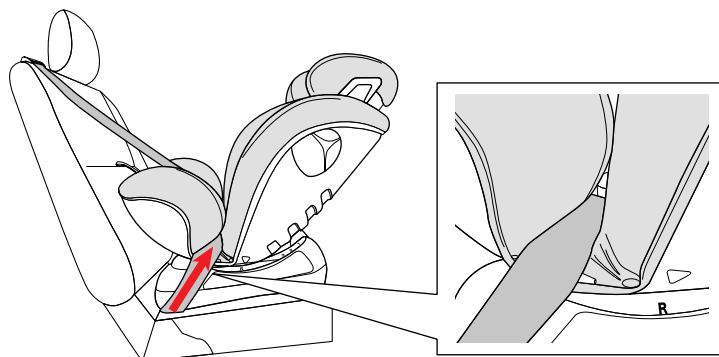
・本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
・お子さまが座っていない時でも、本製品は必ずシートベルトで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

チャイルドシートの取付け

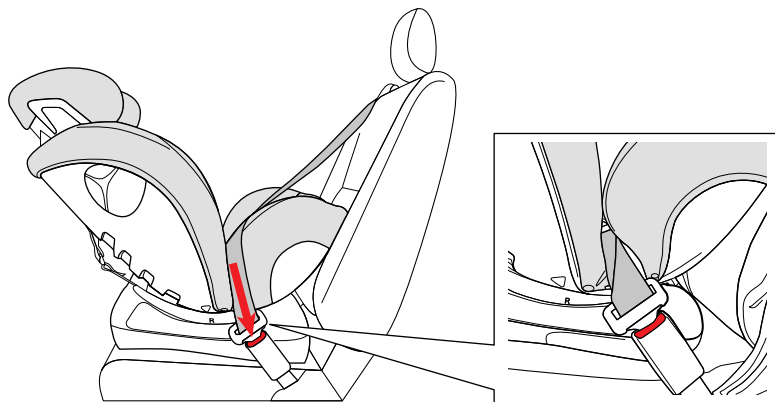
- ① 本製品を後向きにして、車両座席の中央に置きます。本製品の底面が車両座席座面に、前端が車両座席背もたれに接するようにしてください。

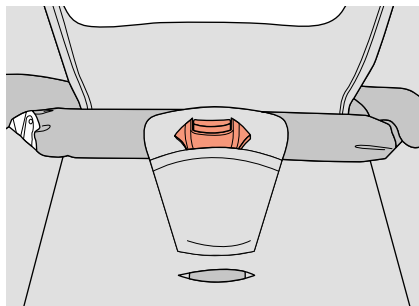


- ②-1 車両シートベルトを引き出して、腰ベルトガイドに通します。



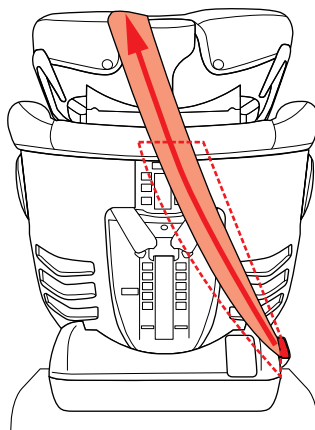
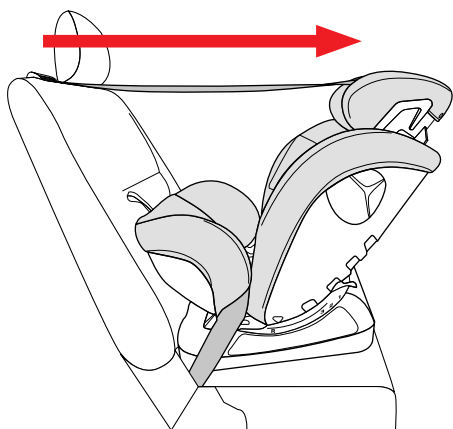
- ②-2 反対側のバックルに車両シートベルトのタングを差し込みます。



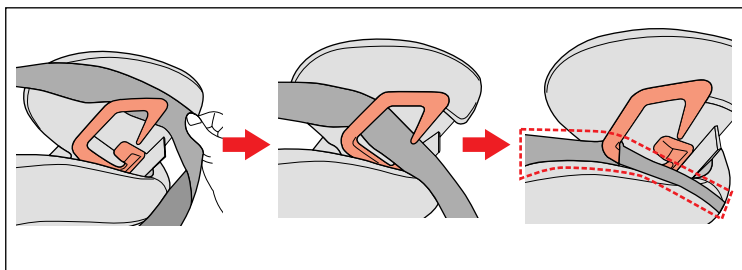
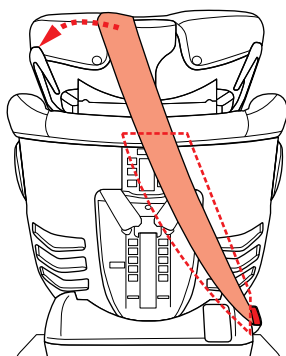


※シートベルトがチャイルドシートのバックルの下を通るようにしてください。
 ※シートベルトにねじれがない事をご確認ください。
 ※シートベルトタングが“カチッ”と音がするまで、確実にバックルに差し込んでください

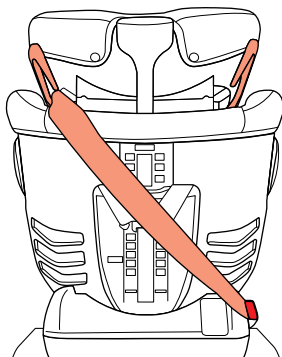
- ③-1 車両シートベルトをさらに引き出します。 ③-2 引き伸ばした 車両シートベルトが、【バックル→背面→ヘッドレスト】を通るようにしてください。



- ④ ヘッドレストに掛かった車両シートベルトを巻取り装置側(バックルの反対側)へずらし、肩ベルトガイドに通します。

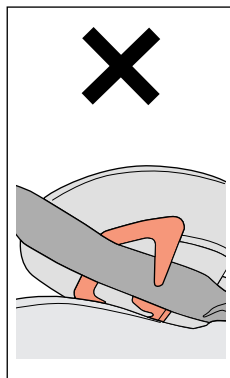
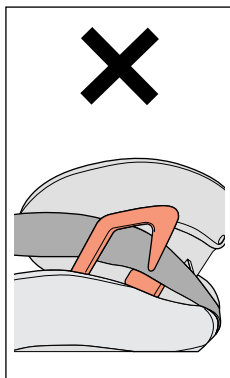
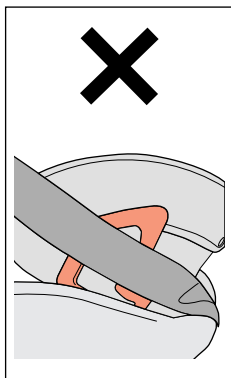
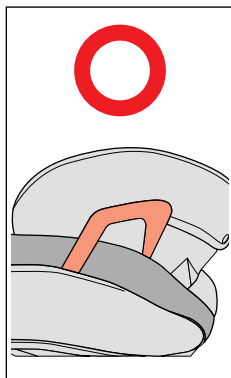


背面

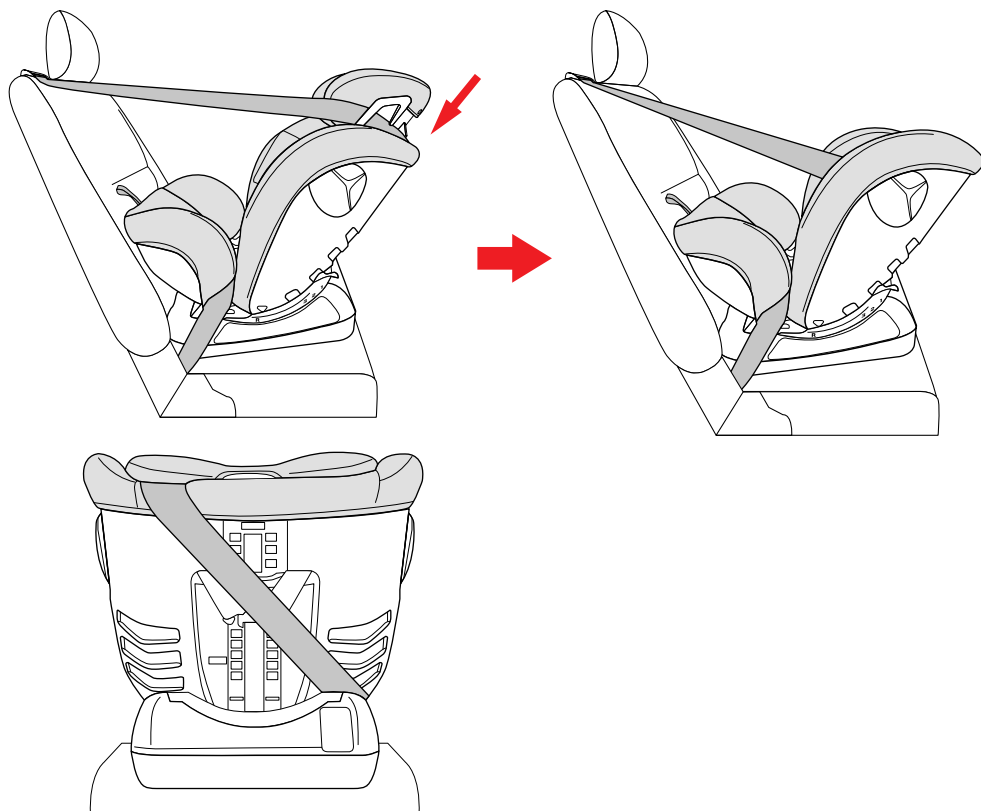


⚠ 危険

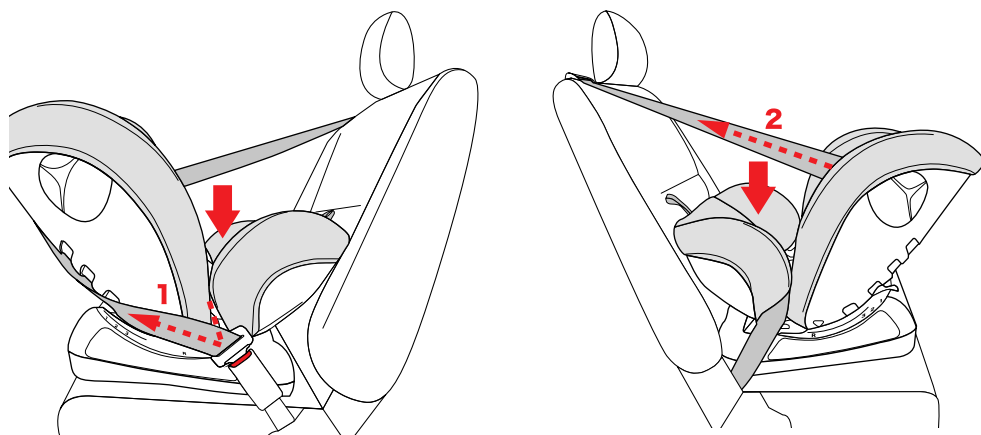
肩ベルトガイドに車両シートベルト肩ベルトを正しく通すこと。
肩ベルトガイドに正しく車両シートベルト肩ベルトが通っていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



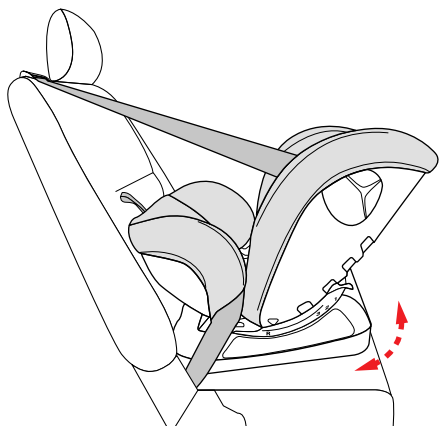
⑤ヘッドレストを下げます。



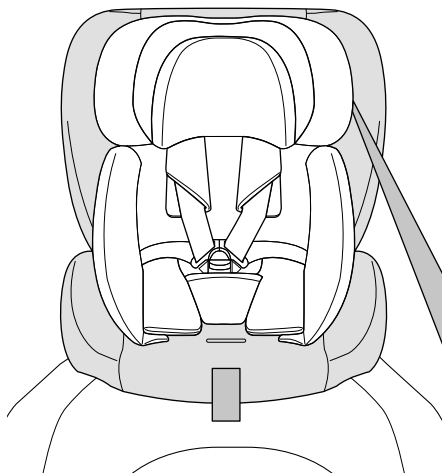
⑥ 本製品を車両座面方向に押し込みながら、腰ベルト (1)、肩ベルト (2) の順に強く引き締め、本製品を車両座席に固定します。



- ⑦ 本製品ベース部を前後左右に軽く揺すり、車両座席にしっかりと固定されていることを確認してください。取付けがゆるいと感じた際は、⑥の操作をやり直し、さらに肩ベルトを強く引き締めてください。



- ⑧ 身長 76cm 未満のお子さまをお乗せになる場合は、必ずインナークッションを取付けてください。



警告

本製品を取付けた状態で、車両座席のリクライニングを調節したり、座席を前後に動かさないでください。取付けがゆるむおそれがあります。

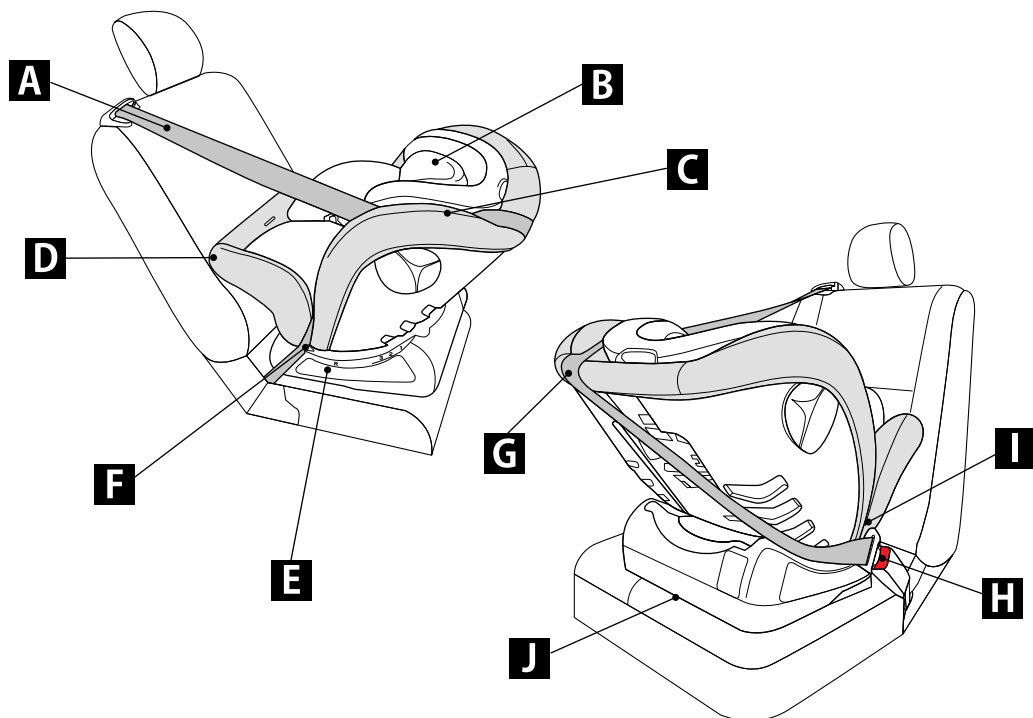


注意

使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、こまめに取付けの点検を行い、本製品をしっかりと固定してください。

取付け後のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。



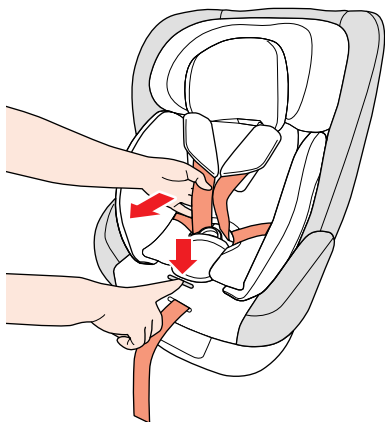
チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトにねじれ・ゆるみがなく、本製品がしっかり固定されていること。
- ☐ **B** インナークッションが取り付けられていること。
- ☐ **C** 肩ベルトが肩ベルトガイドに正しく通っていること。
- ☐ **D** 本製品座面前端部が車両座席背もたれに接していること。
- ☐ **E** リクライニング角度が後向きに設定されていること。
- ☐ **F** 腰ベルトが腰ベルトガイドに正しく通っていること。
- ☐ **G** 肩ベルトが本製品背面からバックルに正しく通っていること。
- ☐ **H** シートベルトがバックルに正しく差し込まれていること。
- ☐ **I** 腰ベルトねじれ・ゆるみがなく、本製品がしっかり固定されていること。
- ☐ **J** 本製品ベースが車両座席座面に密着していること。

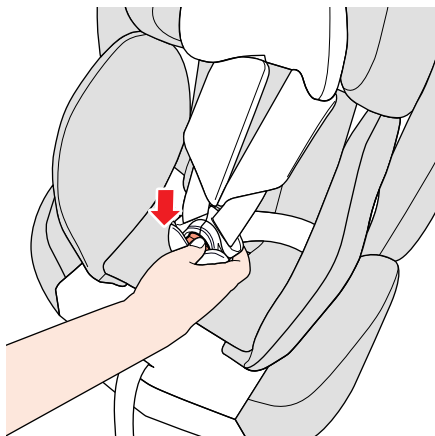
お子さまの乗せかた

①肩ベルトをゆるめてください。

※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません(P17 参照)。



②バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外してください(P16 参照)。

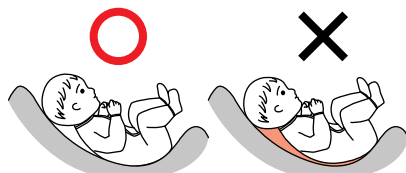


③お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお子さまの腕を通してください。



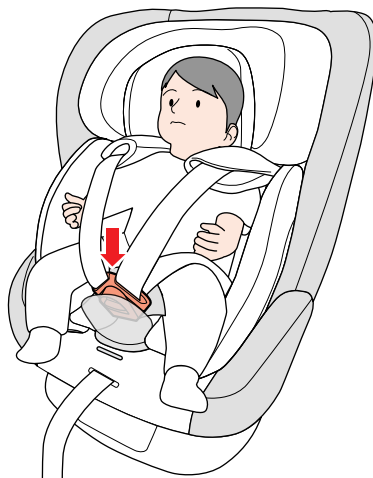
⚠ 警告

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。誤った姿勢で乗せているとお子さまを正しく固定できず、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが本製品より飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず正しい姿勢で乗せてください。



④左右の肩ベルトにねじれないかを確認し、左右のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。



ポイント バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。

肩ベルトの高さ

⚠ 警告

肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(P19 参照)。

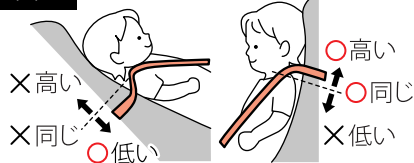
①お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。
※調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。

⚠ 警告

進行方向後向きでのご使用時は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください。

※お子さまの肩より高い位置で使用されますと、お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

図 a

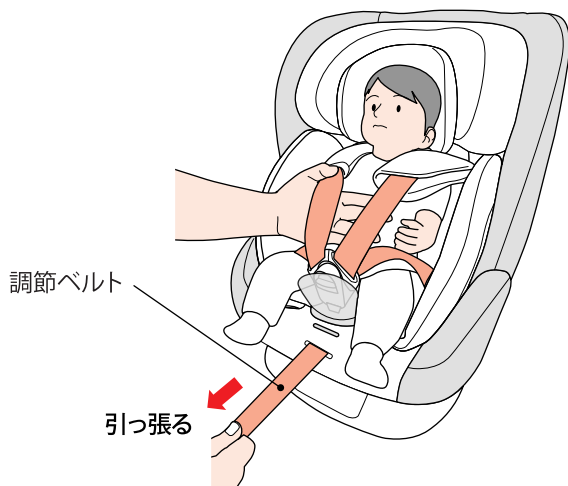


⚠ 注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

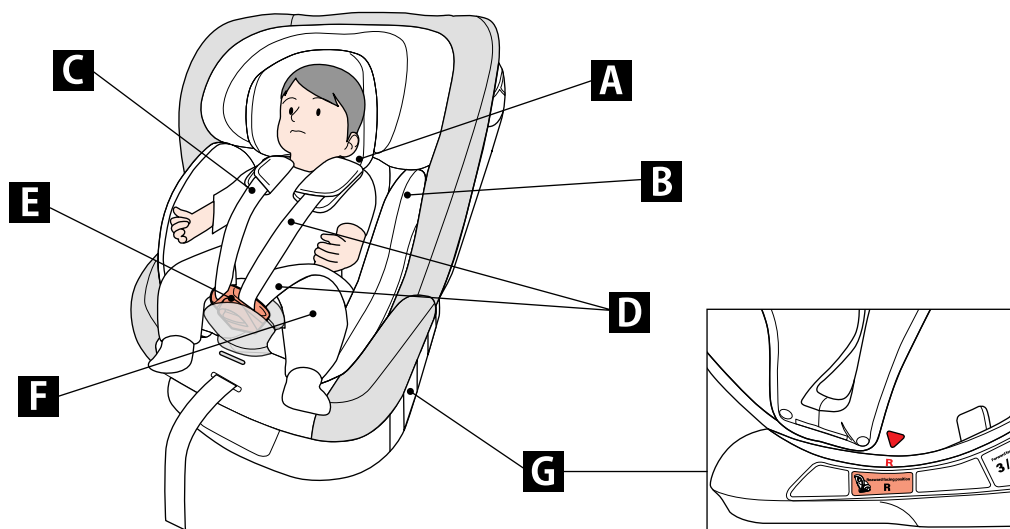
- ①肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P17 参照)。



調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くなるおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。



チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- ☐ **B** インナークッション・ベビーサポートが正しく取付けられていること。
- ☐ **C** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- ☐ **D** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- ☐ **E** 左右のバックルタングが「カチッ」と音がするまでバックルに差し込まれていること。
- ☐ **F** お子さまが正しい位置で座っていること。
- ☐ **G** リクライニング角度が進行方向後向きのポジションになっていること。



危険

肩ベルトはお子さまの肩よりも低い位置で使用してください。お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

身長 **76cm 未満**のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。



警告

お子さまが座っていない時でも、本製品は必ずシートベルトで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 76 ～ 105cm まで」

警告

お子さまの月齢が【15 ヶ月】を超え、尚且つ身長【76cm】以上になってから【進行方向前向き】で使用してください。



動画で解説
チャイルドシートモード
の使用方法

使用条件

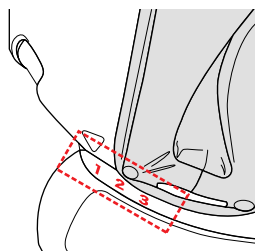
- ・お子さまの身長が 76cm 以上であること。
- ・「全てのインナークッション」は使用しないでください。

取付ける前の準備

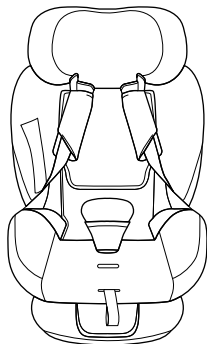
①リクライニング角度を前向きポジション①～③にしておきます (P14 参照)。

注意

車両座席に取付けた後にリクライニング角度を調節することはできません。取付けがゆるみ大変危険です。あらかじめリクライニング角度を調節してください。



② 取付けやすくするために、一旦ハーネスのバックルを解除し、ヘッドレストを上げておきます。



警告

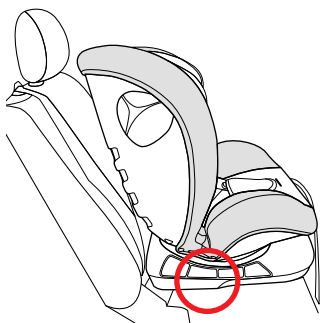
本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

警告

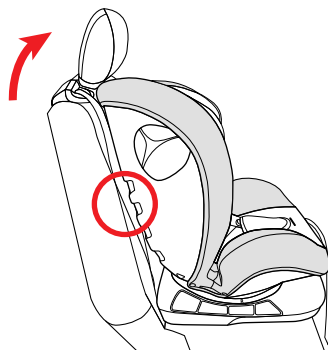
お子さまが座っていない時でも、本製品は必ずシートベルトで固定してください。※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

チャイルドシートの取付け

①本製品を前向きにして、車両座席の中央に置きます。本製品の底面が車両座席座面に接するようにしてください。

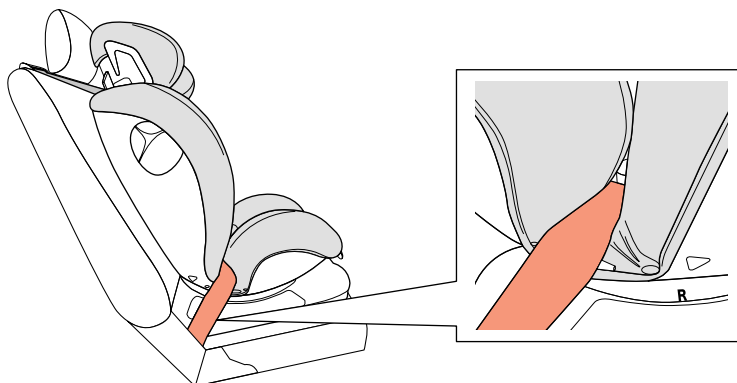


②車両座席背もたれのリクライニングを調節し、本製品背面が密着するようにしてください。

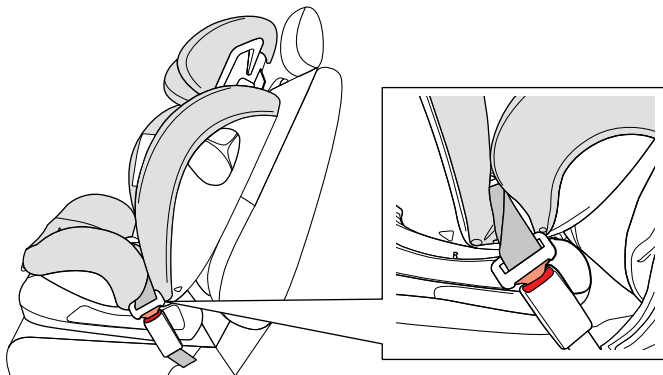


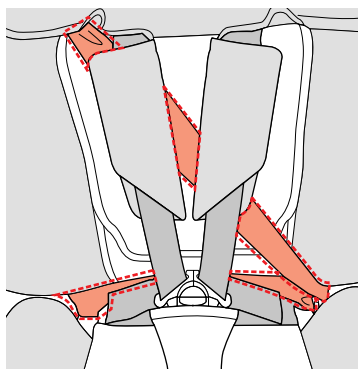
※車両座席背もたれのヘッドレストに干渉する場合は、ヘッドレストを取外してください。

③-1 車両シートベルトを引き出して、腰ベルトガイドに通します。

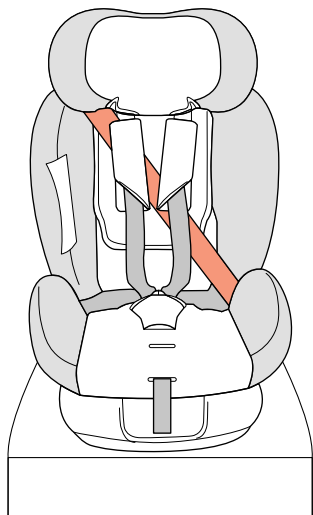
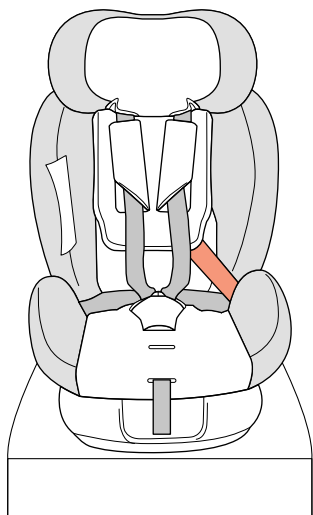


③-2 反対側のバックルに車両シートベルトのタングを差し込みます。



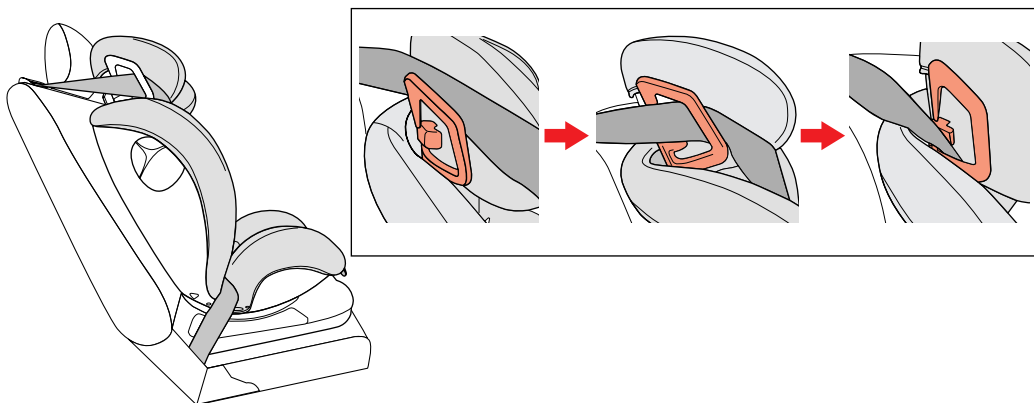


※シートベルトがチャイルドシートハーネスの中を通るようにしてください。



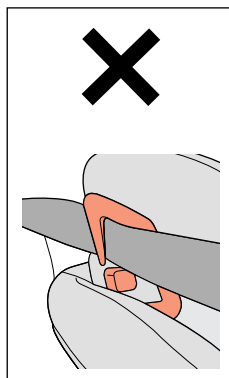
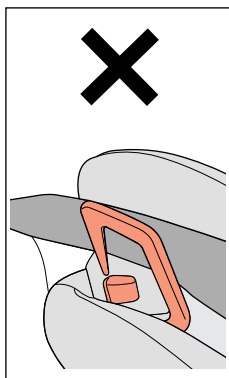
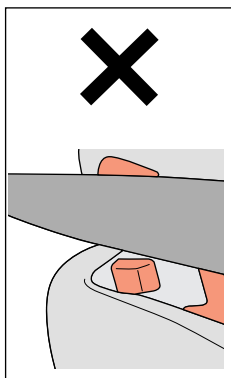
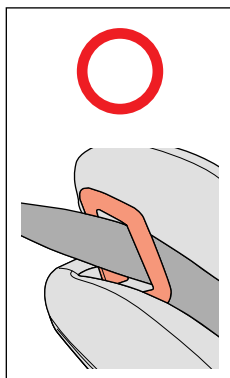
※肩ベルトは、本製品背もたれカバーの表裏どちらを通っても取付け可能です。

④肩ベルトを巻取り装置側（バックルの反対側）の肩ベルトガイドに通します。

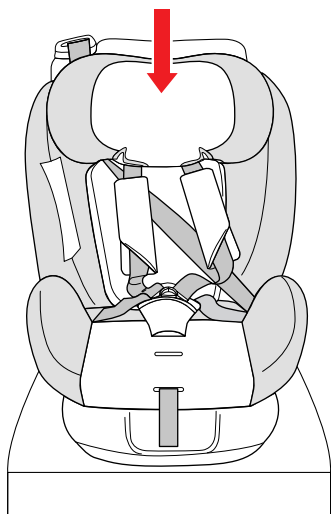


危険

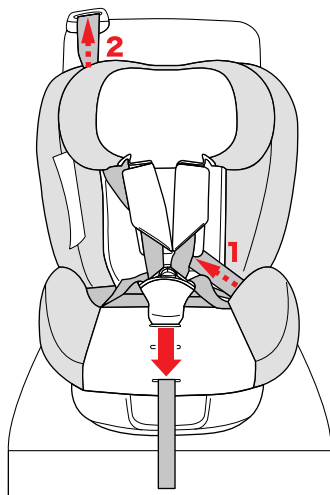
肩ベルトガイドに車両シートベルト肩ベルトを正しく通すこと。
肩ベルトガイドに正しく車両シートベルト肩ベルトが通っていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



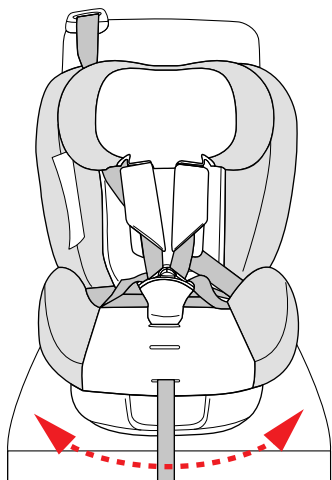
⑤ ヘッドレストを下げます。



⑥ 本製品を車両座面方向に押し込みながら、腰ベルト (1)、肩ベルト (2) の順に強く引き締め、本製品を車両座席に固定します。



⑦ 本製品ベース部を前後左右に軽く揺すり、車両座席にしっかりと固定されていることを確認してください。取付けがゆるいと感じた際は、⑥の操作をやり直し、さらに肩ベルトを強く引き締めてください。



警告

本製品を取付けた状態で、車両座席のリクライニングを調節したり、座席を前後に動かさないでください。取付けがゆるむおそれがあります。

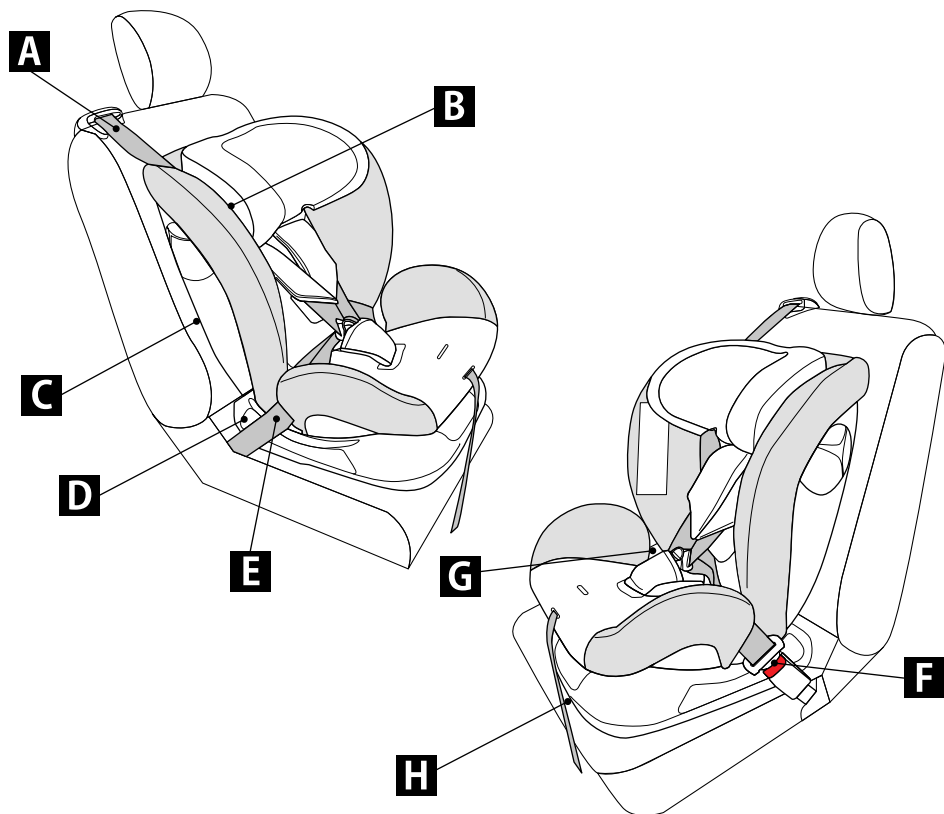


注意

使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、こまめに取付けの点検を行い、本製品をしっかりと固定してください。

取付け後のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。



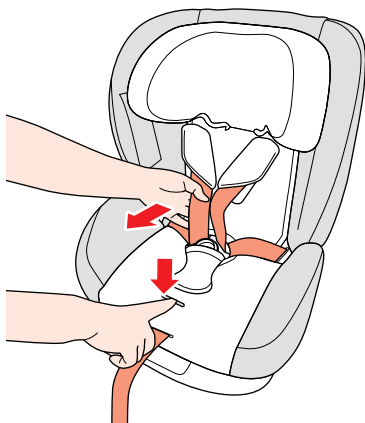
チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトにねじれ・ゆるみがなく、本製品がしっかり固定されていること。
- ☐ **B** 肩ベルトが肩ベルトガイドに正しく通っていること。
- ☐ **C** 本製品背もたれ背面部が車両座席背もたれに接していること。
- ☐ **D** リクライニング角度が前向きに設定されていること。
- ☐ **E** 腰ベルトが腰ベルトガイドに正しく通っていること。
- ☐ **F** シートベルトが本製品ハーネスの中を通り、バックルに正しく差し込まれていること。
- ☐ **G** 腰ベルトにねじれ・ゆるみがなく、本製品がしっかり固定されていること。
- ☐ **H** 本製品ベースが車両座席座面に密着していること。

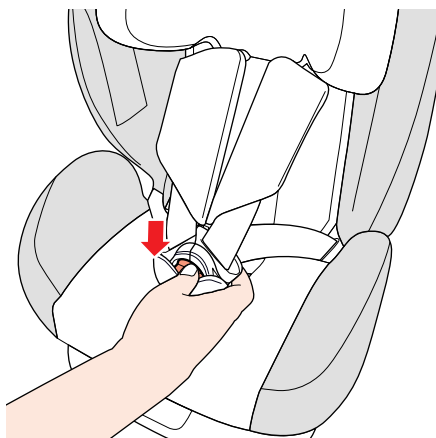
お子さまの乗せかた

①肩ベルトをゆるめてください。

※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません(P17 参照)。



②バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外してください(P16 参照)。



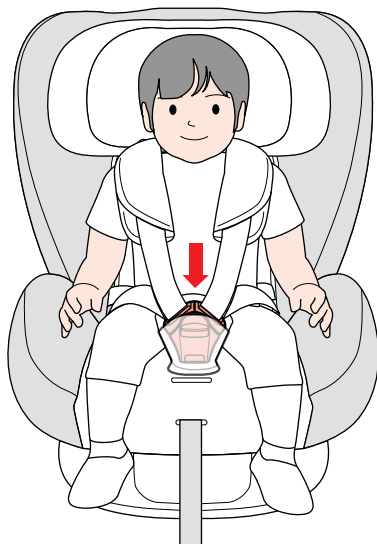
③お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお子さまの腕を通してください。



警告

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。誤った姿勢で乗せているとお子さまを正しく固定できず、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが本製品より飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず正しい姿勢で乗せてください。

- ④左右の肩ベルトにねじれないかを確認し、左右のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。
※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。



ポイント バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。

肩ベルトの高さ

⚠ 警告

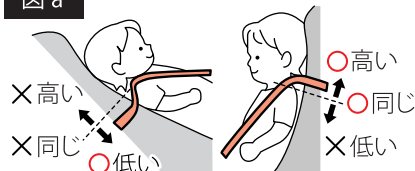
肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(P17 参照)。

- ① お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。
※ 調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。

⚠ 警告

進行方向後向きでのご使用時は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください。
※ お子さまの肩より高い位置で使用されますと、お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

図 a



⚠ 注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

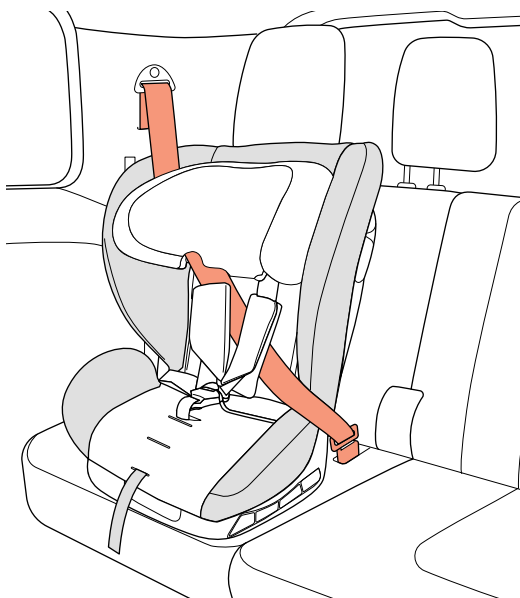
肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

- ① 肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P17 参照)。



⚠ 注意

調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くなるおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

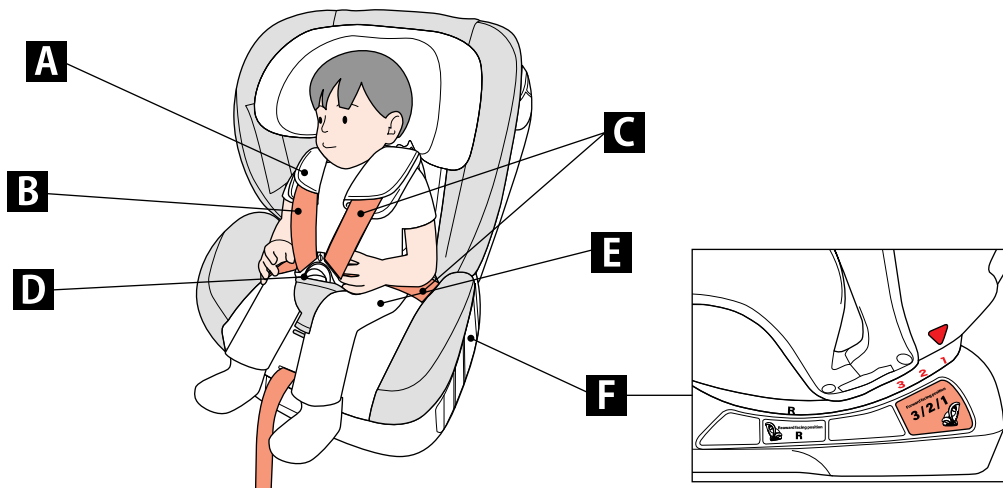


⚠ 警告

お子さまが座っていない時でも、本製品は必ずシートベルトで固定してください。※ 車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。



チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- ☐ **B** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- ☐ **C** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- ☐ **D** 左右のバックルタングが「カチッ」と音がするまでバックルに差し込まれていること。
- ☐ **E** お子さまが正しい位置で座っていること。
- ☐ **F** リクライニング角度が進行方向前向きのポジションになっていること。

⚠ 警告

バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように、ECE R129/04 の安全基準に則り固めておりますがお子さまが成長すると、自身で外してしまうおそれがあります。バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。

⚠ 注意

お子さまを降ろした際、必ずバックルタングはバックルに差し込んだ状態にしてください。

⚠ 危険

肩ベルトはお子さまの肩よりも高いまたは同じ位置で使用してください。お子さまの肩より低い位置で使用されると、装着時、不快になったり、衝撃時、肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告

インナークッションは使用しないでください。

ジュニアシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 100 ～ 150cm まで」

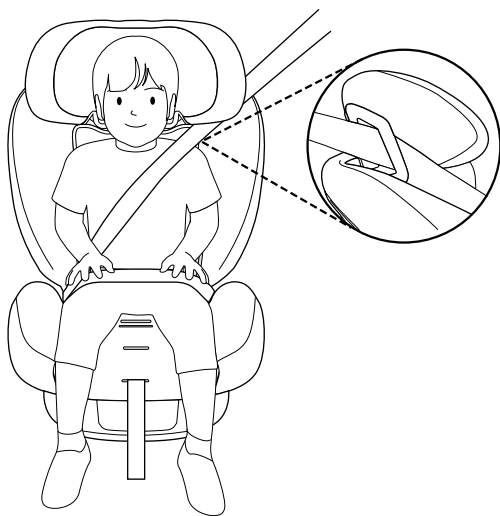
⚠ 警告

身長 100 ～ 150cm くらいのお子さまであること。

※身長 100cm 以下のお子さまは、必ず 5 点式ハーネスで拘束する「チャイルドシートモード」で使用してください。

車両への取付け方法

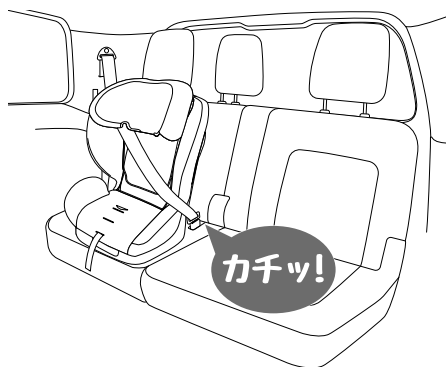
車両シートベルト



⚠ 注意

お子さまが乗っていない場合でも本製品を車両シートベルトで固定してください。

※走行中の急ブレーキや衝突時の衝撃などでけがをしたり、運転の妨げになる可能性があります。



ジュニアシートモードへの準備



ポイント 「インナークッション」は使用しないでください。



動画で解説
ジュニアシート
モードへの準備

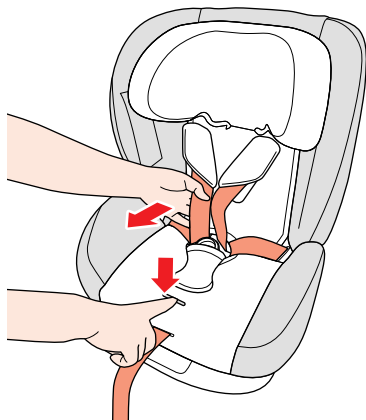


ポイント 肩ベルトを長めに引き出しておくと作業がしやすくなります。

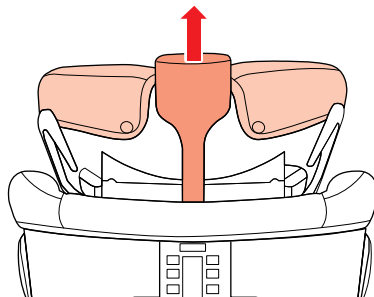
肩ベルト・バックルの収納

①肩ベルトをゆるめてください。

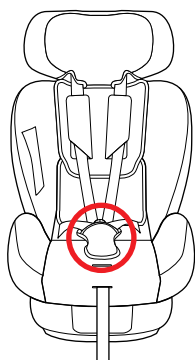
※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません(P17 参照)。



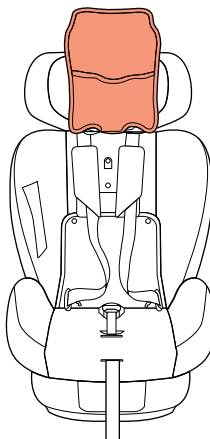
②ヘッドレストを一番高い位置まであげてください。



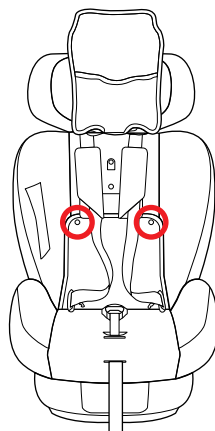
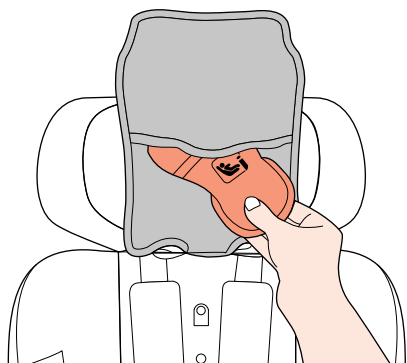
③バックルを解除し、股あてパッドを取外してください。



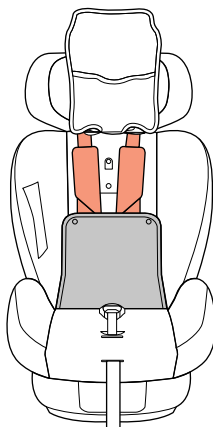
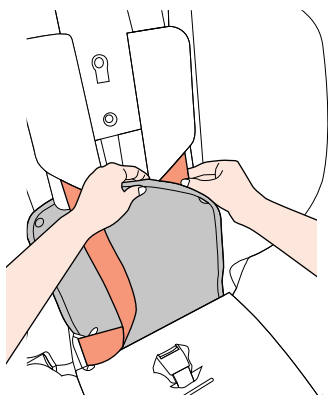
④背もたれカバーを持ち上げてください。



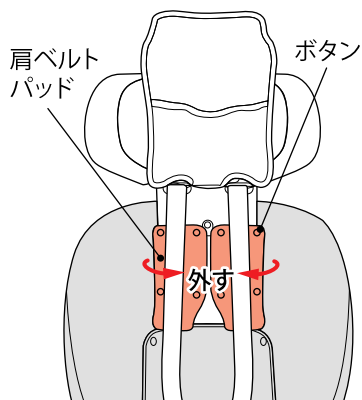
- ⑤ 背もたれカバー裏の収納ポケットに股あてパッドを入れてください。 ⑥ 背もたれカバー(下)のボタンを外してください。



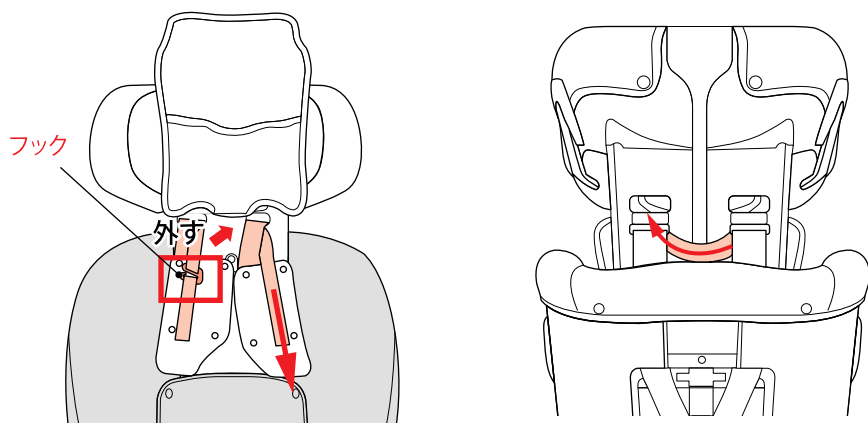
- ⑦ 背もたれカバー(下)を、肩ベルトの手前に移動させてください。



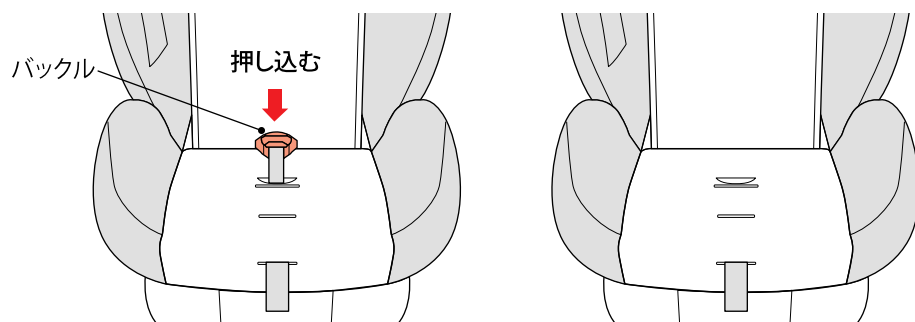
- ⑧ 肩ベルトパッドのボタンを外してください。



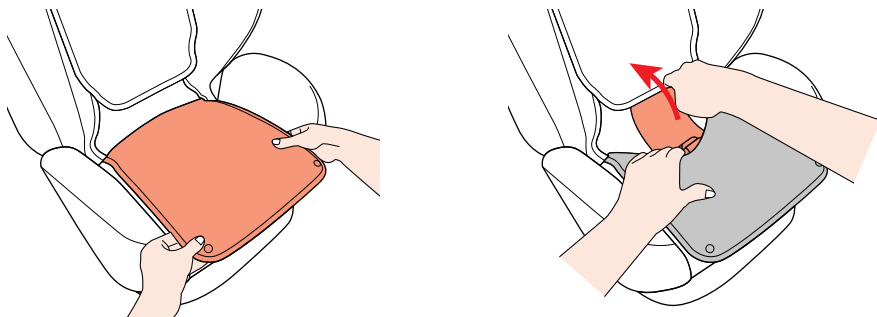
⑨片方の肩ベルトパッドをフックから外し、もう一方を手前に引き抜きます。



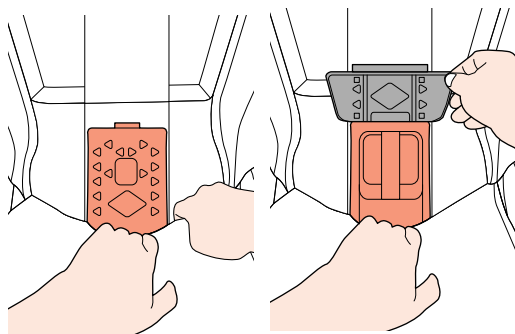
⑩バックルを隙間から下へ押し込んで入れてください。



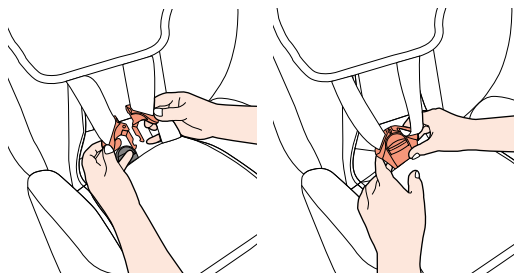
⑪背もたれカバー(下)を手前にめくってください。⑫ クッションフォームを奥にめくります。



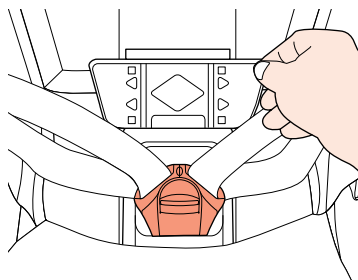
⑬ 座面クッションフォームの下にあるバックル
収納ボックスを開けてください。



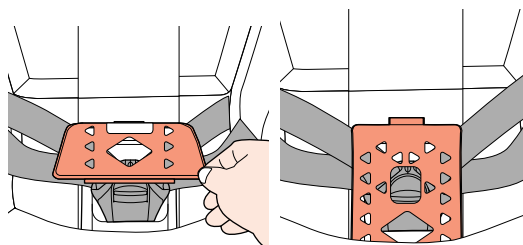
⑭ バックルタングを合わせて、バックルに差し
込んでください。



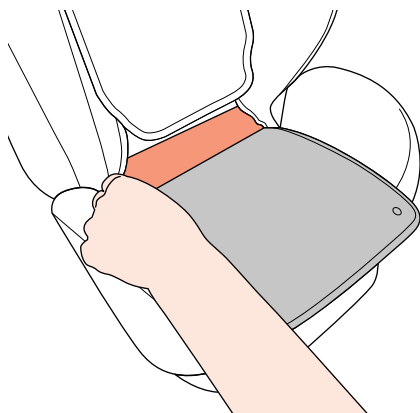
⑮ 収納ボックスにバックルを収納してください。



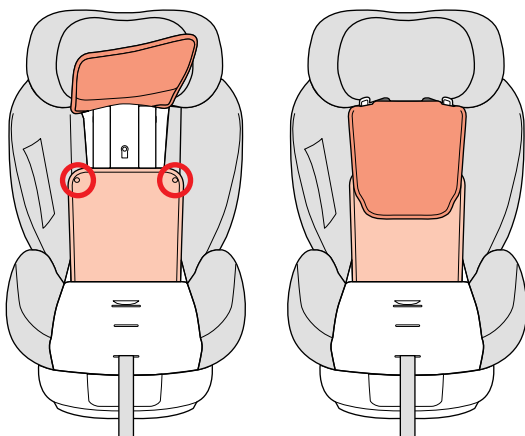
⑯ 収納ボックスを閉めてください。



⑰ 座面クッションフォームを元の位置に戻して
ください。



⑱ 背もたれカバーを「下」「上」の順に元の位置に
戻し、ボタンをとめてください。



ジュニアシートモード (ISOFIX+車両シートベルトまたは車両シートベルトのみ)



動画で解説
ジュニアシート
モードの
使用方法



警告

ジュニアシートモードは、お子さまの身長が【100cm】以上になってから使用してください。

※身長 100cm 以下のお子さまは、必ず 5 点式ハーネスで拘束する「チャイルドシートモード」で使用してください。

使用条件

- ・お子さまの身長が 100cm 以上であること。
- ・身長 100cm 以下のお子さまは、必ず 5 点式ハーネスを使用してください。

☐ お子さまを乗せる前の準備



警告

本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。

※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。

お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

リクライニング角度を前向きポジション①～③にしておきます (P14 参照)。

チャイルドシートが正しく車両に取付けできているか確認。

☐ 5 点式ハーネスを収納していること。

(ジュニアシートモードへの準備 P42 参照)

※【肩ベルト・腰ベルト・バックル】をまとめて 5 点式ハーネスと呼びます。

☐ ヘッドレストを一番高い位置に調節していること。

(ヘッドレスト〈肩ベルト〉の高さ調節と位置の目安 P19 参照)



警告

・お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。

※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。



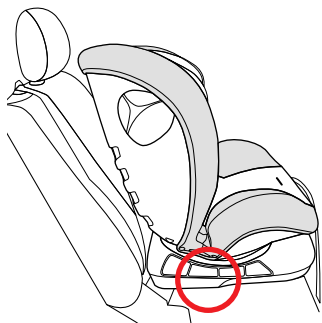
ポイント

ジュニアシートモードでは、本製品の 5 点式ハーネスは使用せず、車両シートベルトでお子さまを拘束します。

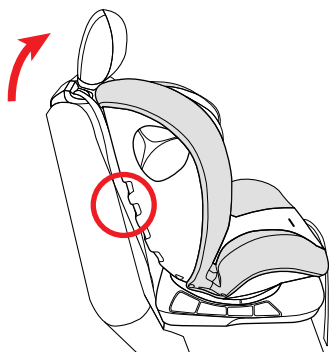
(肩ベルト・バックルの収納 P42 参照)

□ お子さまの乗せかた

①本製品を前向きにして、車両座席の中央に置きます。本製品の底面が車両座席座面に接するようにしてください。

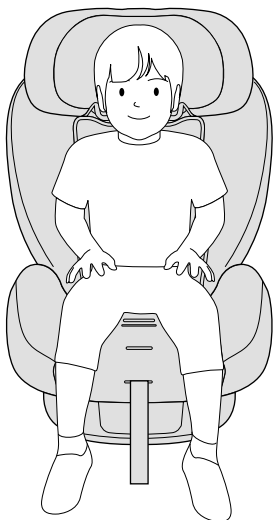


②車両座席背もたれのリクライニングを調節し、本製品背面が密着するようにしてください。



※車両座席背もたれのヘッドレストに干渉する場合は、ヘッドレストを取り外してください。

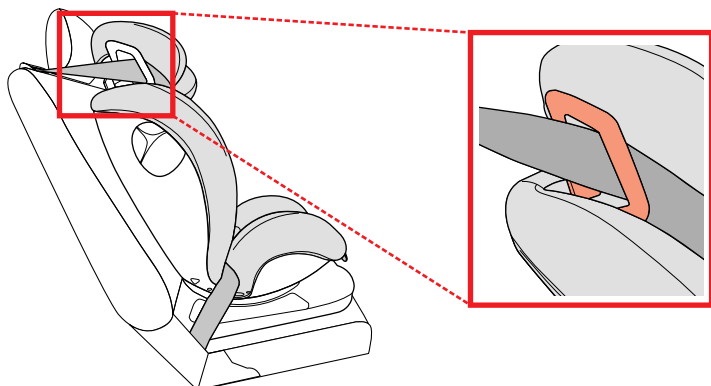
③お子さまを深く座らせてください。



④車両シートベルト（腰ベルト）が腰ベルトガイドを通るようにして、車両バックルに差し込んでください。

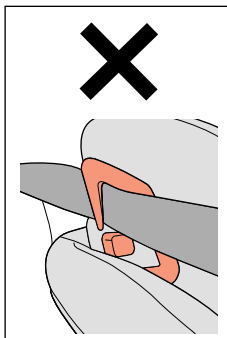
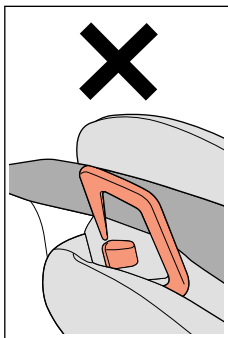
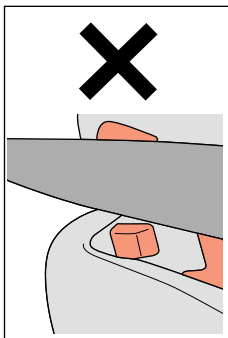
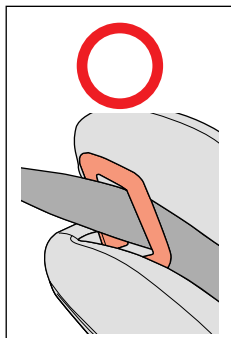


⑤車両シートベルトを肩ベルトガイドに通してください。

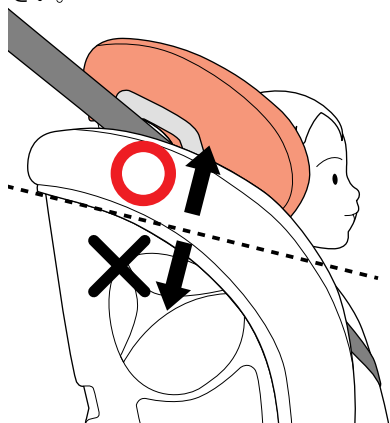


警告

肩ベルトガイドに車両シートベルト肩ベルトを正しく通すこと。
肩ベルトガイドに正しく車両シートベルト肩ベルトが通っていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が外れて思わぬ事故につながる恐れがあります。



⑥ヘッドレストの高さ調節で、車両シートベルトをお子さまの肩と同じか、肩より高い位置にしてください。



危険

- ・車両シートベルト（肩ベルト）がねじれていないことを確認してください。
- ・肩ベルトガイドはお子さまの肩と同じ位の高さにしてください。

警告

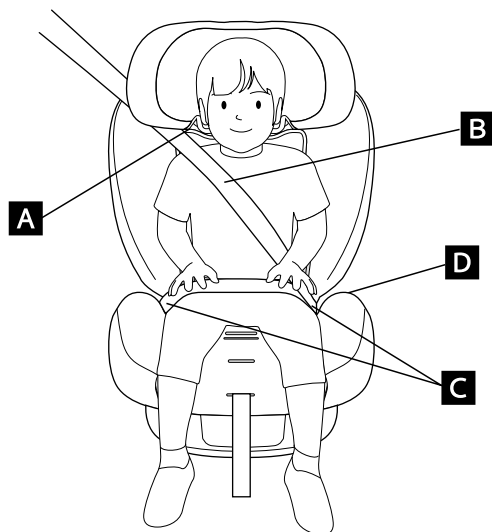
走行中や、ヘッドレストの高さ調節の際は、お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを必ず確認してください。

危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり、外さないよう注意してください。

□ 走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。



チェックリスト

- **A** ヘッドレスト、車両シートベルトの高さが正しい位置で調節され、車両シートベルトが、肩ベルトガイドの中を通過していること。
- **B** 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- **C** 車両シートベルト（腰ベルト）が左右の腰ベルトガイドを通過していること。
- **D** 車両シートベルトが車両バックルに確実に差し込まれていること。



警告

お子さまの首に車両シートベルトがかかっていることを、確認してください。



警告

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったりしないよう、注意してください。



警告

お子さまの肩が、肩ベルトガイドの位置より高くなった場合は、身長が適応範囲内でも、本製品の使用を中止してください。



警告

- ・お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。
- ※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



シートカバーの取外し方法



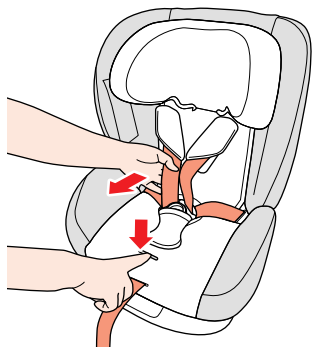
ポイント

全てのインナークッションを取外してから行ってください。

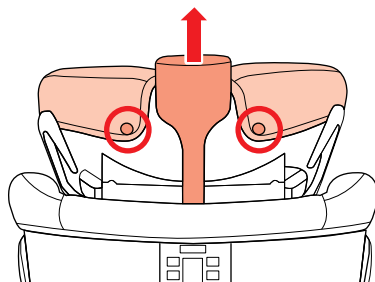


動画で解説
シートカバーの
取外し方法

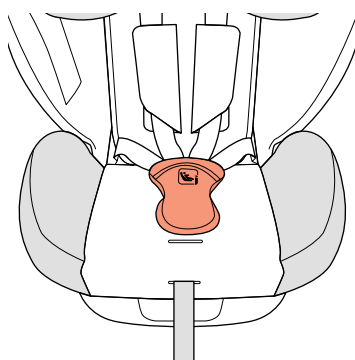
①肩ベルトをゆるめてください。



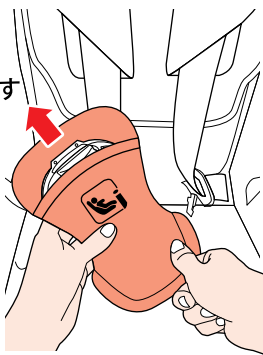
②ヘッドレストを一番高い位置まで引き上げて
背面のボタンを外します。



③バックルを解除し、股あてパッドを取外してください。



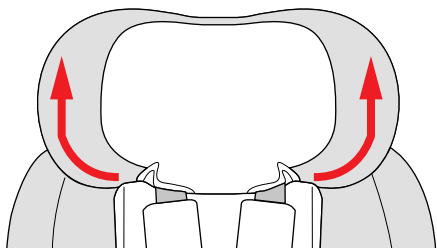
取外す



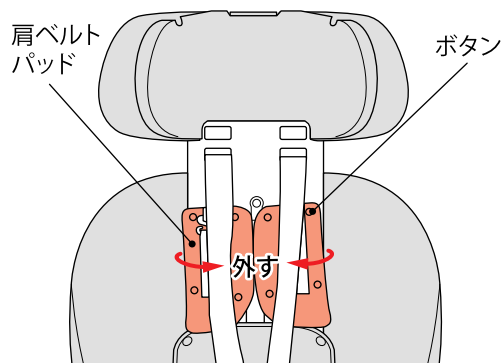
股あてパッド



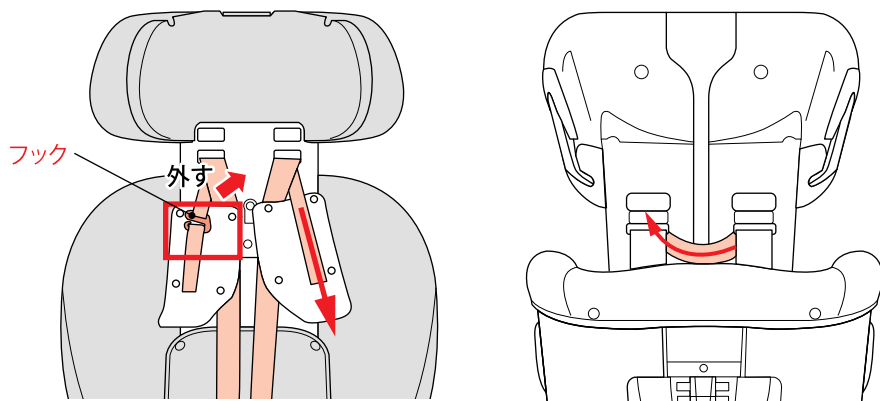
④ヘッドレスト下側から、ゆっくりカバーを外してください。



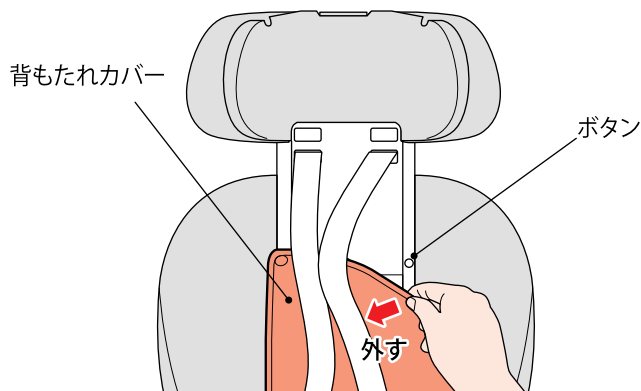
⑤肩ベルトパッドのボタンを外してください。



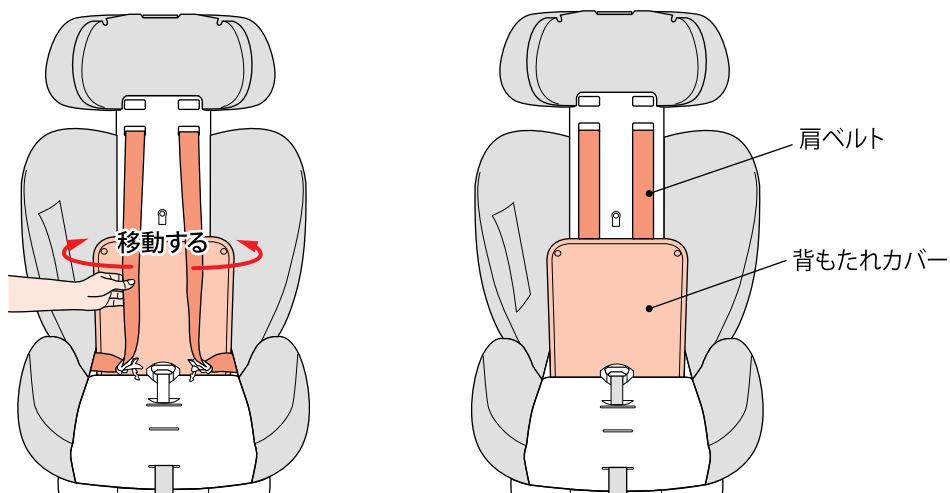
⑥片方の肩ベルトパッドをフックから外し、もう一方を手前に引き抜きます。



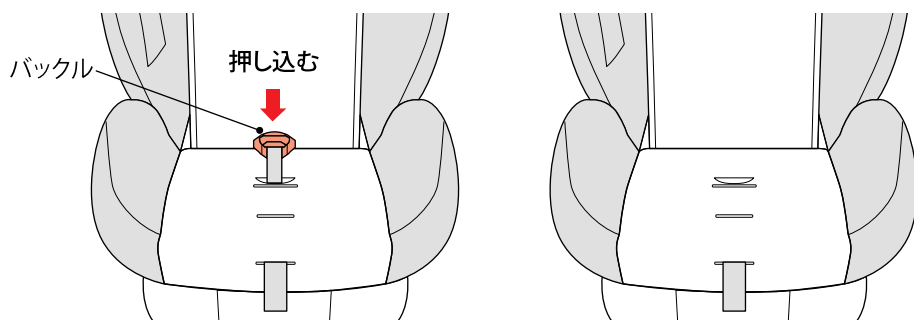
⑦背もたれカバーのボタンを外してください。



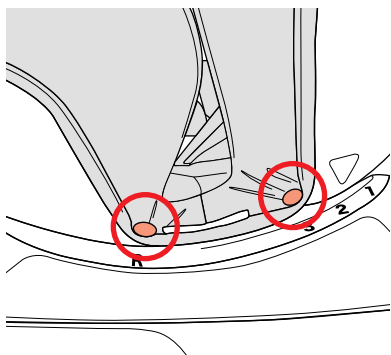
⑧肩ベルトを背もたれカバーの後ろに移動させてください。



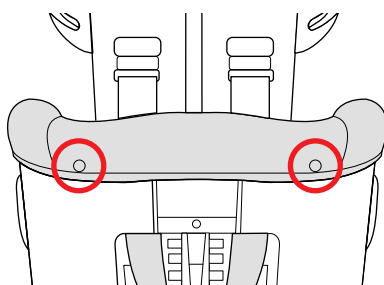
⑨バックルを隙間から下へ押し込んで入れてください。



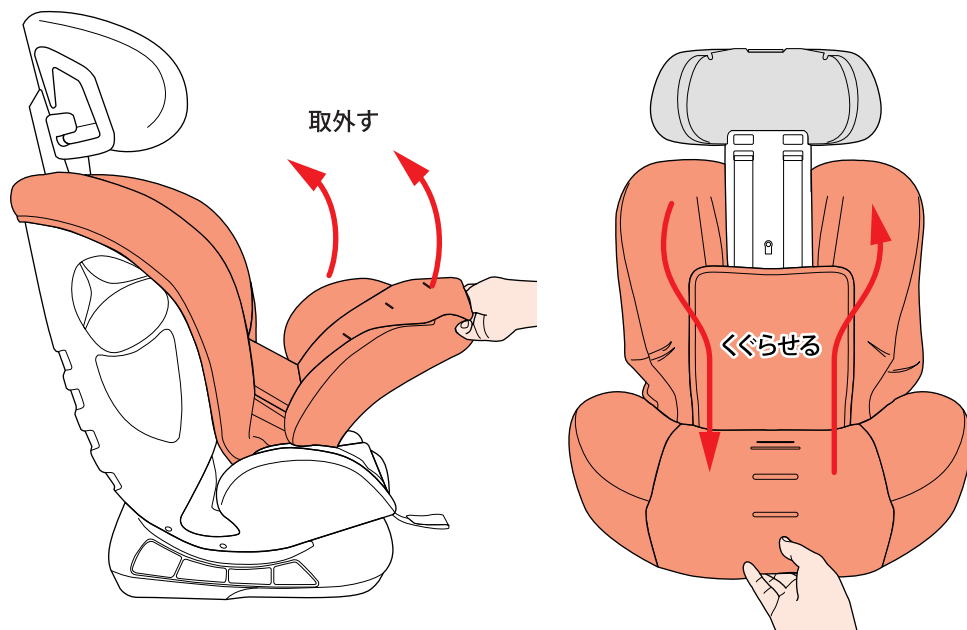
⑩本体両側腰ベルトガイド付近のボタンを外します。



⑪本体上部背面のボタンを外します。



⑫シート前部から上にゆっくりカバーを取外し、ヘッドレスト部分をくぐらせながら外してください。



警告

カバーを取外す際、無理に引っ張らないでください。カバーが破れる可能性があります。

シートカバーの取付け方法

シートカバーの取付けは、取外しの逆手順になります。



注意

シートカバーを取外した状態で使用しないでください。



 動画で解説
シートカバーの
取付け方法

お手入れ方法



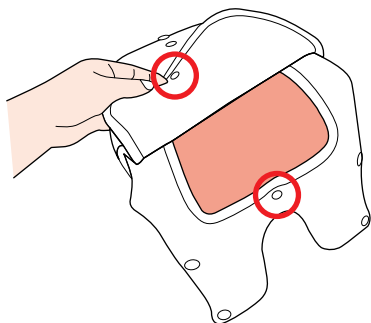
ポイント インナークッションの各部の名称は(インナークッション P15)で確認してください。

ベビーサポート

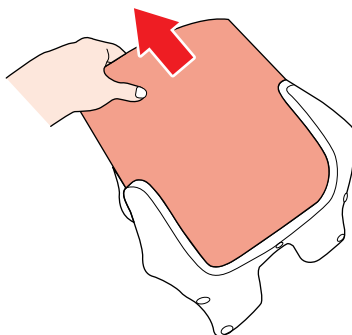


動画で解説
ベビーサポート
のお手入れ

①裏面のボタンを外してください。



②クッションを取出してください。



⚠ 注意

クッションを取出す際は、破れないよう注意してください。

⚠ 注意

- ・クッションは洗濯できませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。
- ・クッションは必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

洗濯方法

⚠ 注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

カバー部分のみ洗濯可能です(必ずクッションを取出してから洗濯してください)。

- ・ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
- ・洗濯後は、乾いた布などで拭き取ってから日陰で平干ししてください。

⚠ 注意

- ・洗濯機は使用しないでください。
- ・洗濯時は必ずクッションを取出してから洗濯してください。

ヘッドサポートクッション



動画で解説
ヘッドサポート
のお手入れ



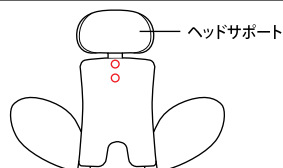
ポイント

インナークッションの各部の名称は(インナークッション P15)で確認してください。

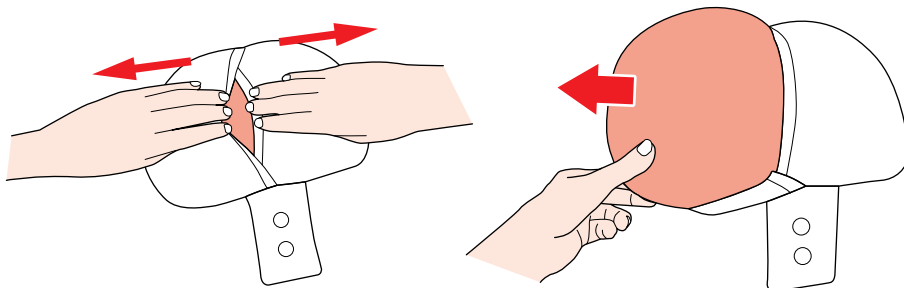


ポイント

ヘッドサポートは背面のボタンで取外し可能です。洗濯時は取外してください。



①裏面のスリットを広げ、クッションを取出してください。



⚠ 注意

・クッションを取出す際は、破れないよう注意してください。

⚠ 注意

- ・クッションは洗濯できませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。
- ・クッションは必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

洗濯方法

⚠ 注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

カバー部分のみ洗濯可能です(必ずクッションは取出してから洗濯してください)。

- ・ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
- ・洗濯後は、乾いた布などで拭き取ってから日陰で平干ししてください。

⚠ 注意

- ・洗濯機は使用しないでください。
- ・洗濯時は必ずクッションを取出してから洗濯してください。

サイドサポート



動画で解説

サイドサポート
のお手入れ



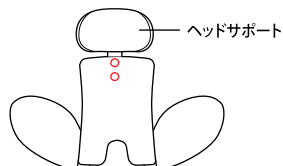
ポイント

インナークッションの各部の名称は(インナークッション P15)で確認してください。



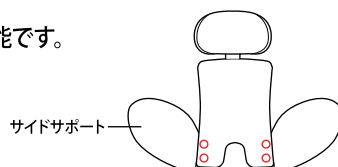
ポイント

ヘッドサポートは背面のボタンで取外し可能です。
洗濯時は取外してください。



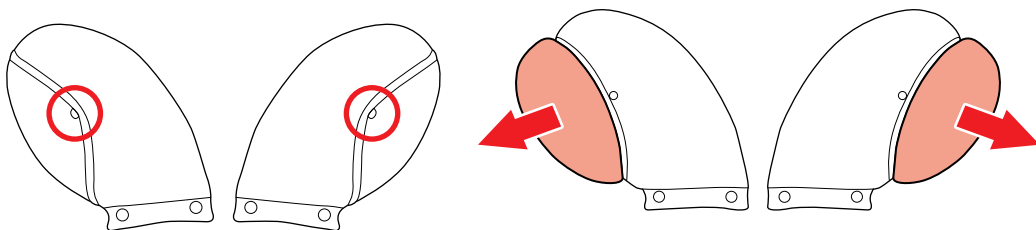
ポイント

サイドサポートは背面のボタンで取外し可能です。
洗濯時は取外してください。



①裏面のボタンを外してください。

②クッションを取出してください。



注意

クッションを取出す際は、破れないよう注意してください。

注意

- クッションは洗濯できませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。
- クッションは必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

各シートカバーの洗濯方法



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

- ・ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
- ・洗濯後は、乾いた布などで拭き取ってから日陰で平干ししてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。本体や、布などを傷めるおそれがあり大変危険です。

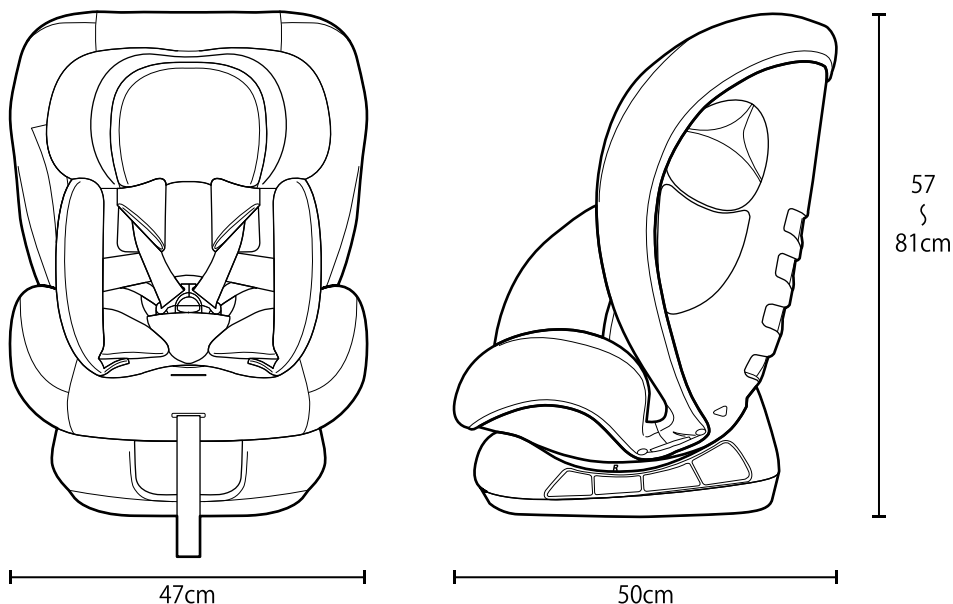
本体

- ・固くしぼった布で水ぶきしてください。
- ・汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。
- ・水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。

製品情報

本体サイズ

奥行き：約 50cm
幅：約 47cm
高さ：約 57～81cm



材質

本体：HDPE(高密度ポリエチレン)
カバー：PE(ポリエステル)
クッション：PU(ポリウレタン)/EPE(発泡ポリエチレン)

保管方法

- ・安全で乾いた場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- ・お子さまの手の届かない場所で保管してください。
- ・本製品に重いものを置かないでください。

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。
- ・衝突事故で本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・再利用による事故を防ぐため、廃棄する際はシートカバーを外してから廃棄してください。